

東神楽町 複合施設整備事業基本設計委託業務  
基本設計図書

令和2年1月

東神楽町

株式会社 藤本壮介建築設計事務所

<b>第1章 基本方針</b>		<b>第6章 工事工程計画</b>			
1	全体設計コンセプト	1-1 ~ 1-3	1	ローリング計画図	6-1
<b>第2章 基本計画</b>		<b>第7章 基本設計図</b>			
1	建物概要	2-1	1	配置図	7-1
2	敷地案内図	2-2	2	北エリア 1階平面図	7-2
3	配置計画	2-3	3	北エリア 2階 / 地階平面図	7-3
4	平面計画 (北エリア 各階)	2-4 ~ 2-5	4	南エリア 1階平面図	7-4
5	平面計画 (南エリア 各階)	2-6	5	屋根伏図	7-5
6	面積表	2-7	6	断面図	7-6
7	屋根計画	2-8	7	立面図 (各面)	7-7 ~ 7-8
8	断面計画	2-9	<b>第8章 透視図</b>		
9	立面計画	2-10	1	内観 / 外観イメージパース	8-1 ~ 8-2
10	仕上計画	2-11	<b>第9章 概算工事費</b>		
11	面積算定図	2-12	1	概算工事費	9-1
<b>第3章 舞台計画</b>		3-1	<b>第10章 各種技術資料</b>		
1	舞台計画 基本コンセプト	3-2	1	駐車場配置	10-1
2	レイアウトパターン	4-1	2	歩車分離	10-2 ~ 10-12
<b>第4章 外構計画</b>		4-1	3	樹木・下草・花	10-13 ~ 10-14
1	外構植栽計画平面図	5-1	4	文化ホール	10-15 ~ 10-39
<b>第5章 電気・機械設備計画</b>		5-2	5	調理実習室	10-40 ~ 10-50
1	電気設備計画		6	南エリア駐車レイアウト	10-51
2	機械設備計画		7	動線歩行距離時間比較	10-52
			8	樹木高さ	10-53
			9	回廊を横切る通路について	10-54 ~ 10-58
			10	照明計画案	10-59 ~ 10-72
			11	塔について	10-73 ~ 10-80
			12	回廊の空調について	10-81 ~ 10-82

## 1: 東神楽町のシンボル(顔)となる施設

### 1-1: 統一感のある複合施設

- ・建物ではなく、樹木によって全体のまとまりを作る。
- ・既存の庁舎や図書館など、ばらばらな建築群にまとまりを与えることができる。
- ・将来的に増改築された時にも、全体の印象が変わらないアイデンティティを作る。

### 1-2: 東神楽町のシンボルとしての風景

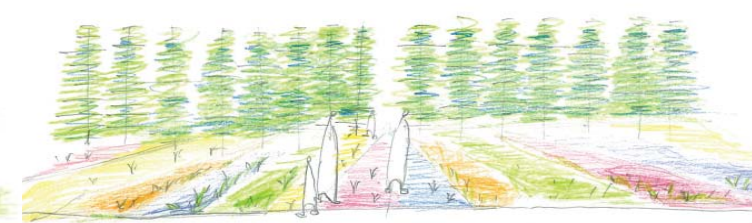
- ・北海道・東神楽町ならではの風景
- ・他のどこにもない新しい公共施設のあり方
- ・長い時間が経っても古びない、飽きのこない存在となる。

### 1-3: 柔軟性と拡張性のある施設

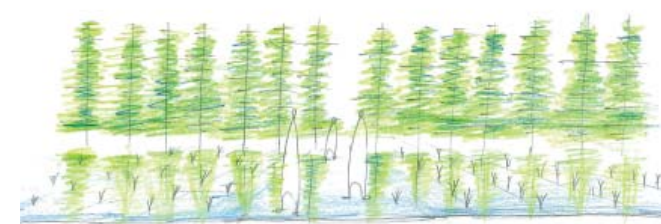
- ・回廊に沿って将来的に増築をすることができる。
- ・児童館などの子供支援機能、デイケアなどの高齢者支援機能、展示スペースなどの文化支援機能。
- 建て替えではなく、増築しながら長い時間を積み上げて、変わらない風景のシンボルとなる。



草原に樹木が立ち並ぶ風景



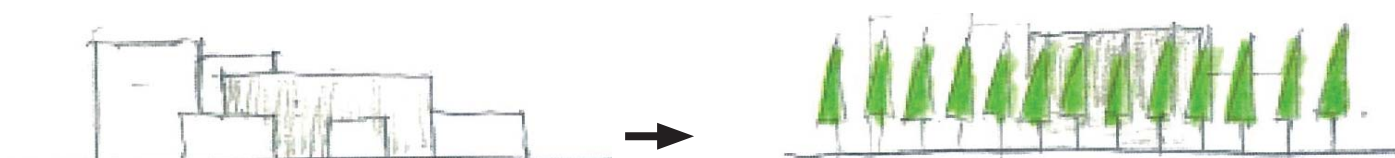
花畑に樹木が立ち並ぶ風景



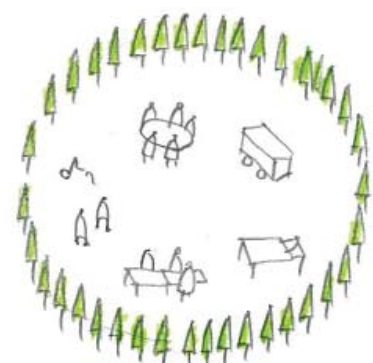
水田に樹木が立ち並ぶ風景



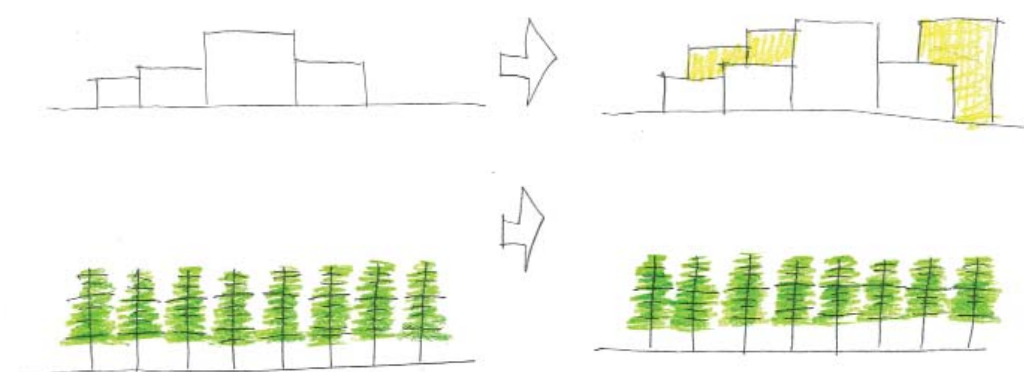
雪に樹木が立ち並ぶ風景



樹木によって統一感をつくる



樹木に囲われた「まちの森」



増築しても変わらない外観



## 2: 複合化による、にぎわい・交流の相乗効果の実現

### 2-1: 気軽に立ち寄り、通り抜けることができる施設

- ・回廊によって、敷地のどの方角からもアクセスすることができる。
- ・目的地としてだけでなく、何かのついでに立ち寄ることができる場所。
- ・日常生活の一部として町民に親しまれる場所となる。

### 2-2: 町民の居場所となる施設

- ・回廊に沿って居場所を点在させる。さまざま大きさの居場所。地元産の木製の家具。
- ・機能の複合化と、それを結ぶ回廊によって、にぎわいと交流が促進される。
- ・カフェ機能は人々を呼び込む起点となり、また図書館機能が回廊に溢れ出しても良い。

### 2-3: 健康促進と、知的好奇心を刺激する場所

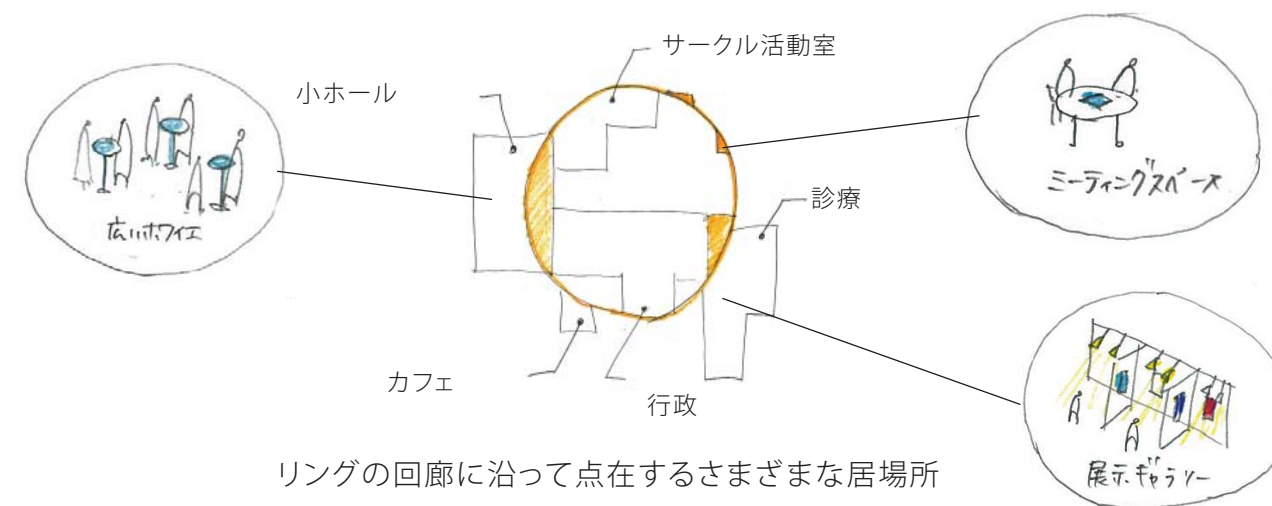
- ・回廊はどんな天気の時にも散歩することができる遊歩道として健康促進に繋がる。
- ・回廊に沿った複合機能によって、自分の目的以外の様々な出来事が視野に入り、好奇心を刺激する場所となる。

### 2-4: 町民が参加できる施設

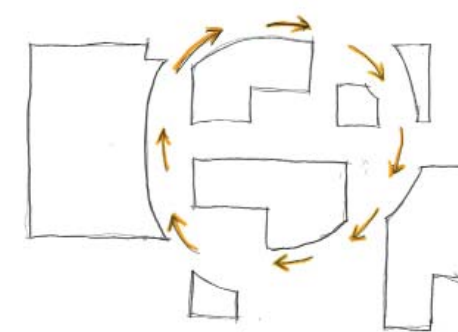
- ・ワークショップによって設計段階から町民が参加し、愛着の持てる施設とする。

### 2-5: 様々な表情を持つ庭

- ・屋内だけではなく、屋外空間も様々な場所を用意する。
- ・光と風と自然の美しさを体験できる緑豊かな複合施設とする。



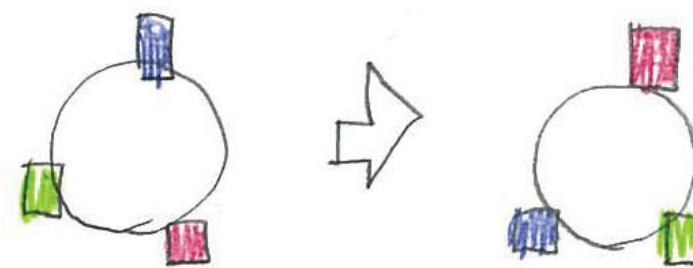
リングの回廊に沿って点在するさまざまな居場所



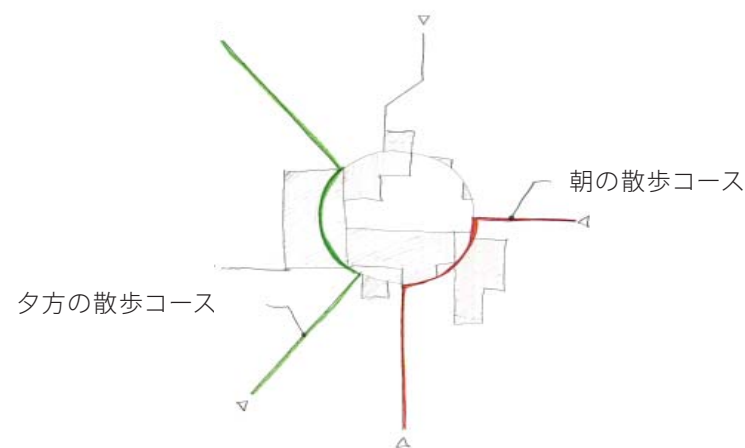
歩き回れる回廊



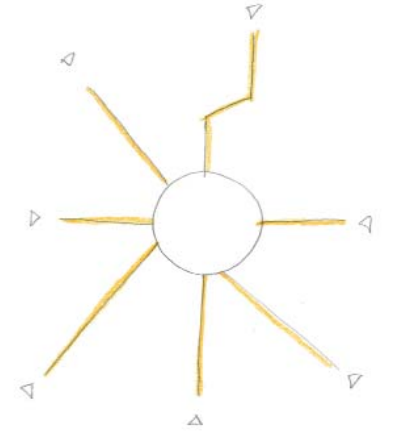
好奇心を刺激する場



住民とともに作り上げていく施設



街路のようなリングの回廊



多方向からアクセス可能な道



様々な表情がある庭



### 3:環境に配慮し、防災拠点として安全性の高い施設

#### 3-1:行政窓口 執務機能 防災拠点機能

- ・市民と職員にとって利用しやすい、総合窓口案内サービス。
- ・災害時に人々の拠点となって機能する。

#### 3-2:多様な利用ができる文化ホール

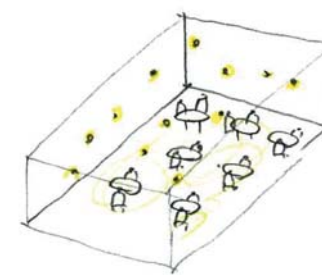
- ・様々な催しに対応できる多目的ホール。

#### 3-3:安全と使いやすさに配慮した施設

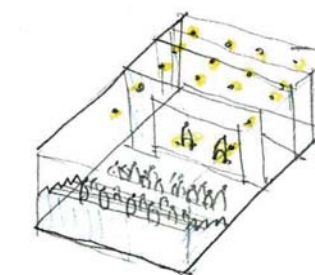
- ・状況に応じて開閉可能なフレキシビリティをもったセキュリティー計画。
- ・利用者の使いやすさに配慮した動線計画。
- ・多方向に避難できる安全な施設。

#### 3-4:地元貢献、環境共生、施設管理、構造種別の考え方

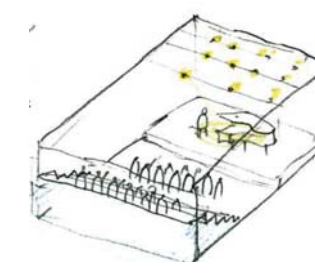
- ・地元産の木材利用や、イベントの開催を行い地域産業の発展に役立つ施設。
- ・町民が利用しやすい単純なフロア構成。
- ・地域の環境に配慮した緑豊かな施設。
- ・省エネルギー対策と自然エネルギーを活用する。
- ・町内業者が維持管理できる施設とする。
- ・コスト、性能、などの検討を行い適切な構造種別を検討する。



講演会

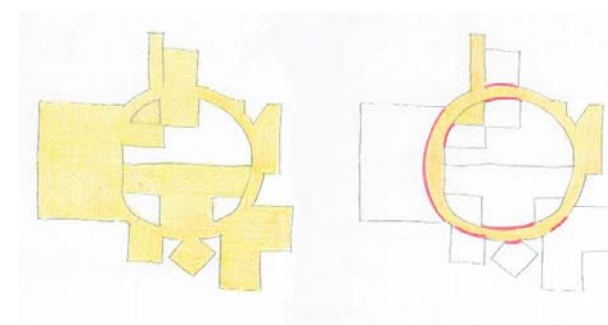


演劇



演奏会

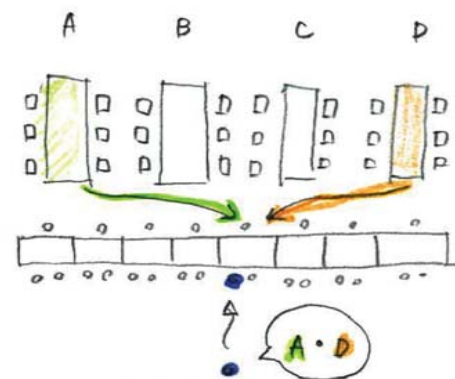
さまざまな催しに対応できる多目的ホール



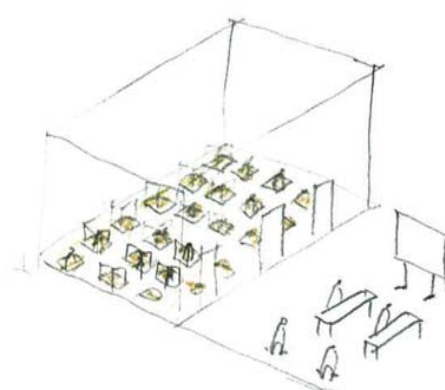
状況に応じて開閉可能なセキュリティー計画



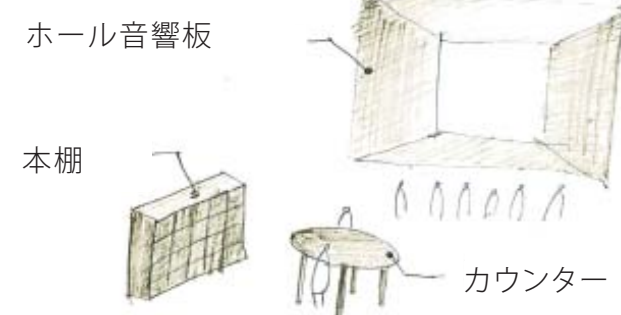
多方向に避難できる



使いやすい総合窓口



災害時に人々の拠点となって機能する



地元産の木材を積極的に活用



環境共生

## 第2章 基本計画

## 1 建物概要

## 1-1 建築

名称	(仮称) 複合施設
計画地	北海道上川郡東神楽町南1条西1丁目、西2丁目
建築主	東神楽町
【北エリア】	
都市計画区域	■内 (■市街化区域、□市街化調整区域、□区域区分未設定都市計画区域) □外
用途地域	近隣商業地域 (建ぺい率 80%、容積率 200%)、第2種住居地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%)
防火区域	□防火地域、■準防火地域 □指定なし
日影規制	あり (10mを超えるの建築物、別表4の(に)(2)の号)
その他の指定	景観区域 (東神楽町景観条例)
道路巾員	南側：南5条通り線 西側：西1丁目通り線 北側：南2条通り線 東側：道道鷹栖・東旭川・神楽線
斜線制限	近隣商業地域：道路斜線：適用距離 20m、勾配 1.5、第2種住居地域：適用距離 20m、勾配 1.25
敷地面積	25,366 m <sup>2</sup>
建築面積	6,346 m <sup>2</sup> 建蔽率 25.01% (最大 80%)
延床面積	8,446 m <sup>2</sup> 容積率 33.29% (最大 200%)
工事種別	新築工事, 改修工事
主要用途	集会場、劇場、診療所、役場、調剤薬局、休憩所、飲食店
構造	複合施設 SRC造 +S造の複合構造
階数	地下1階、地上3階
高さ	最高高さ 24.000m (高さの限度なし)
工期	2020年4月～2022年12月(31ヶ月)

## 【南エリア】

都市計画区域	■内 (■市街化区域、□市街化調整区域、□区域区分未設定都市計画区域) □外
用途地域	第2種中高層住居専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%)
防火区域	□防火地域、□準防火地域 ■指定なし
日影規制	あり (10mを超えるの建築物、別表4の(に)(3)の号)
その他の指定	景観区域 (東神楽町景観条例)
道路巾員	南側：なし 西側：西1丁目通り線 北側：南5条通り線 東側：道道鷹栖・東旭川・神楽線
斜線制限	道路斜線：適用距離 20m、勾配 1.25
敷地面積	11,473 m <sup>2</sup>
建築面積	1,744 m <sup>2</sup> 建蔽率 15.02% (最大 80%)
延床面積	1,744 m <sup>2</sup> 容積率 15.02% (最大 200%)
工事種別	新築工事, 改修工事
主要用途	自動車車庫、消防団詰所、倉庫
構造	複合施設 S造
階数	地上1階
高さ	最高高さ 6.000m (高さの限度なし)
工期	2020年4月～2022年12月(31ヶ月)

2 敷地案内図



広域案内図 縮尺 A3=1:20000



付近見取図 縮尺 A3=1:2000



### 3 配置計画

#### 3-1 建物配置

- 【北エリア】・4面が道に面する敷地に合わせ建物を中央に配置した計画とし、道道側を建物正面とする。
- ・駐車場は各施設に近い位置に分散配置し、車利用者が建物にアプローチしやすい計画とする。
  - ・建物周囲は、樹木で囲むことで、周囲の風景と調和しつつ、他の地域にない特徴ある外観をもつ。
  - ・道道側の屋外部分は広々とした花のエリアを設け、花のまちとして観光客へのアピールの場となる。

#### 3-2 歩行者用の敷地への出入口

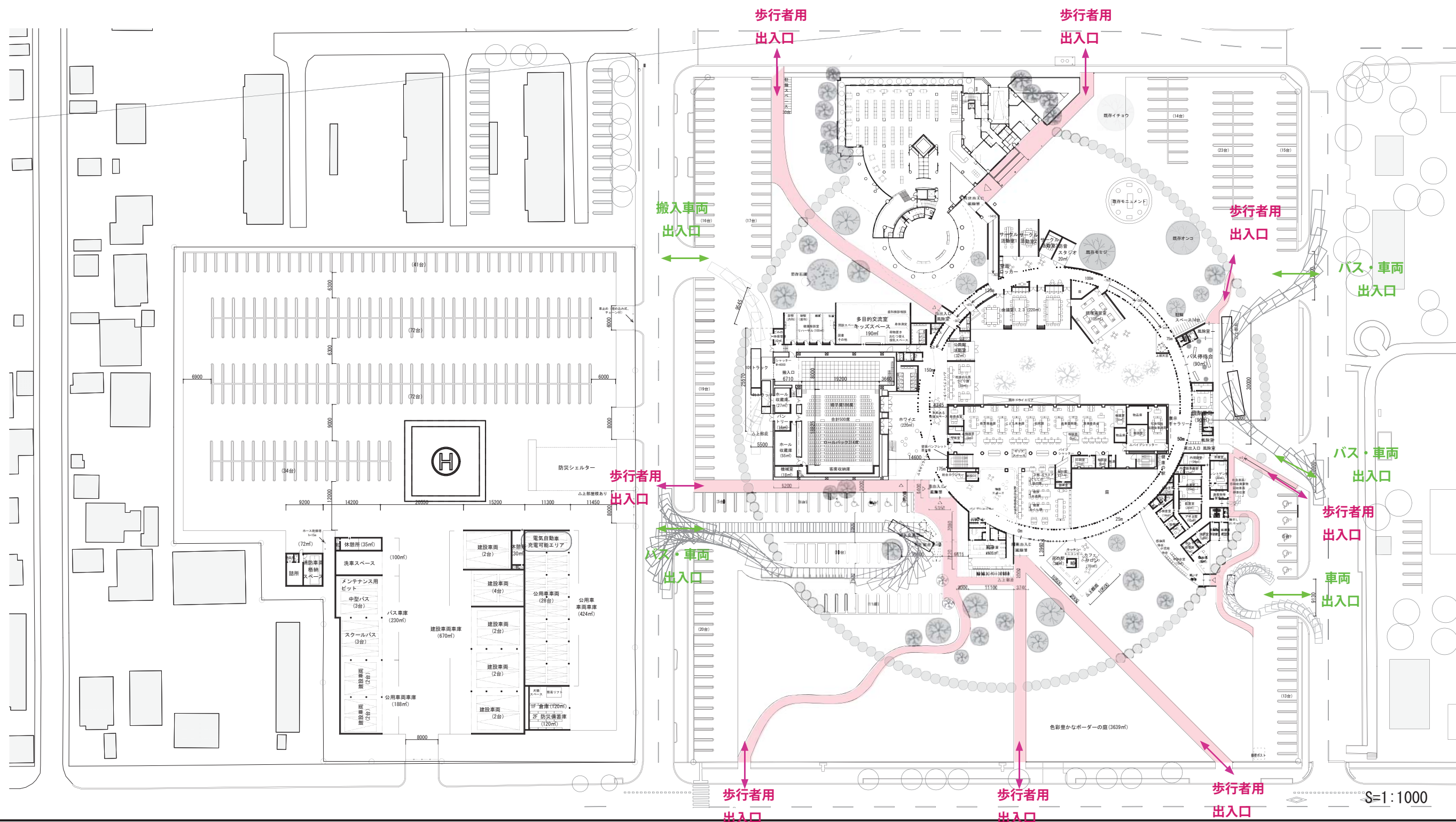
- 【北エリア】・歩行者の敷地への出入口を、東側3箇所、西側2箇所、南側1箇所、北側2箇所の計8箇所に計画する。
- ・建物へのアプローチは可能な限り緩やかなスロープを計画する。

#### 3-3 車寄せ、駐車場

- 【北エリア】・車寄せは、役場と文化ホールに近い、南出入口に計画し、バスなどの大型車両も停車できるよう計画する。
- ・一般利用者用の駐車場車両の出入口を南側道路から2箇所、北側道路から2箇所の計4箇所計画する。
  - ・バス用の出入口を敷地の南側と北側道路からの2箇所に計画する。
  - ・舞台の搬入車両の出入口を敷地の南側に計画する。
  - ・一般利用者の駐車場は162台、身障者用の駐車場は10台、診療所と建物のメインエントランスに近い位置に計画する。

#### 3-4 駐輪場

- 【北エリア】・建物南側と、東側の2か所に駐輪場54台を設ける。



## 4 平面計画（北エリア 1階）

### 4-1 エントランス

- ・利用者のエントランスは、6箇所に分散して設置し、風除室を通り、回廊へアクセスできる計画とする。主要なエントランスは、車寄せ付近の南出入口とする。

### 4-2 文化機能

- ・文化ホールの総客席数は、500席計画する。
- ・舞台下手側には搬入出入口を設置し、外部には十分な庇を設けることで、楽器や大道具が搬入しやすい搬入経路を確保する。
- ・可動席の最上段の席へ、ホワイエからアクセスできる階段を計画する。
- ・サークル活動室は、多様な活動に対応できるよう、大小の異なる大きさをもつ部屋を複数計画する。その内、1室は防音機能を備えた音楽スタジオ、1室は畳の部屋を計画する。

### 4-3 交流機能

- ・幅3mの回廊は、緩やかなスロープでつながり、本棚や各サークルのロッカー、パンフレット棚、椅子、机などが備えられ、様々な町民の活動の場、憩いの場となる計画とする。
- ・カフェ、サロンには収納式のキッチンとミニコンビニを設置する。
- ・学生作品の展示などが可能な展示ギャラリー、庭の管理や花の販売を行う花の駅 / ボランティアセンター、測定機器を設置した健康の駅を計画する。

### 4-4 健康相談機能

- ・文化ホールの舞台近くに、ホールステージと同規模の多目的交流室を計画する。文化ホールリハーサル室としても利用でき、かつ保健指導や、キッズスペース、軽い体操や運動が可能な計画とする。
- ・文化ホールの舞台近くに、健康相談室を計画する。可動間仕切り壁で4部屋に分割可能とし、各部屋には、手洗い器、化粧台、着替えスペースを備え、ホールの控室としても利用可能な計画とする。
- ・調理実習室は、調理台を7台備え、料理教室などを行い、隣接した会議室で食事ができる計画とする。

### 4-5 診療機能

- ・他の利用者への感染、職員の使いやすさを考慮した、配置及び動線計画とする。
- ・必要機器を備えた整備とし、調剤薬局は別棟とした計画とする。








### 4-6 行政機能

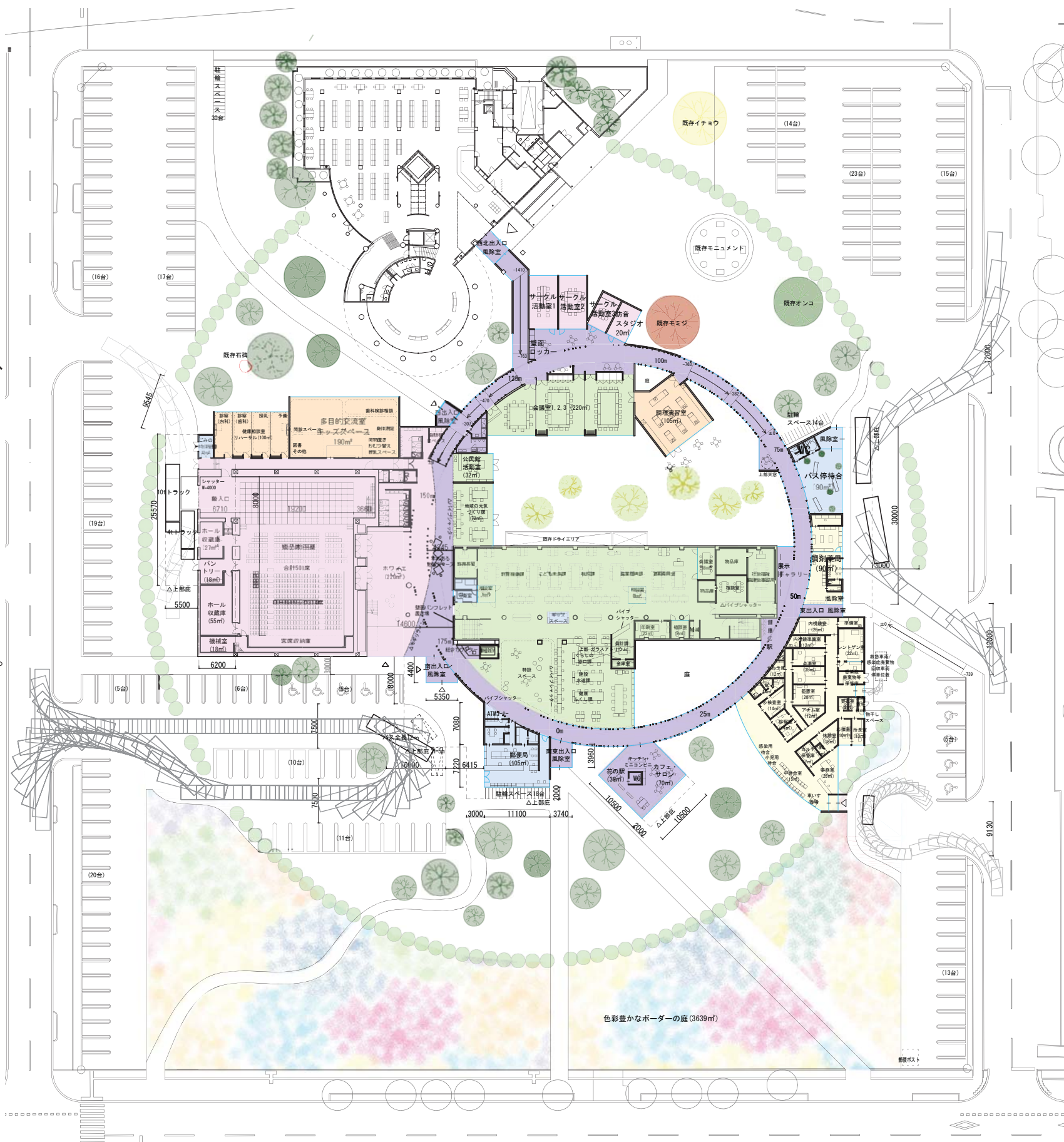
- ・各窓口届出、証明書の発行など、町民利用の多い窓口は1階に配置した計画とする。
- ・窓口カウンターは木製ローカウンターとし、仕切板、サイン表示などを検討する。
- ・会議室は可動間仕切壁で3部屋に分割可能な計画とする。

### 4-7 その他

- ・隣接するバスセンターと同様の機能を備えたバス待合、将来郵便局が移設可能な便利施設、守衛室、ごみの一時置き場を計画する。

## 凡例

	文化機能		健康相談機能		行政機能		その他
	交流機能		診療機能		車庫		



1階平面図 S=1:800



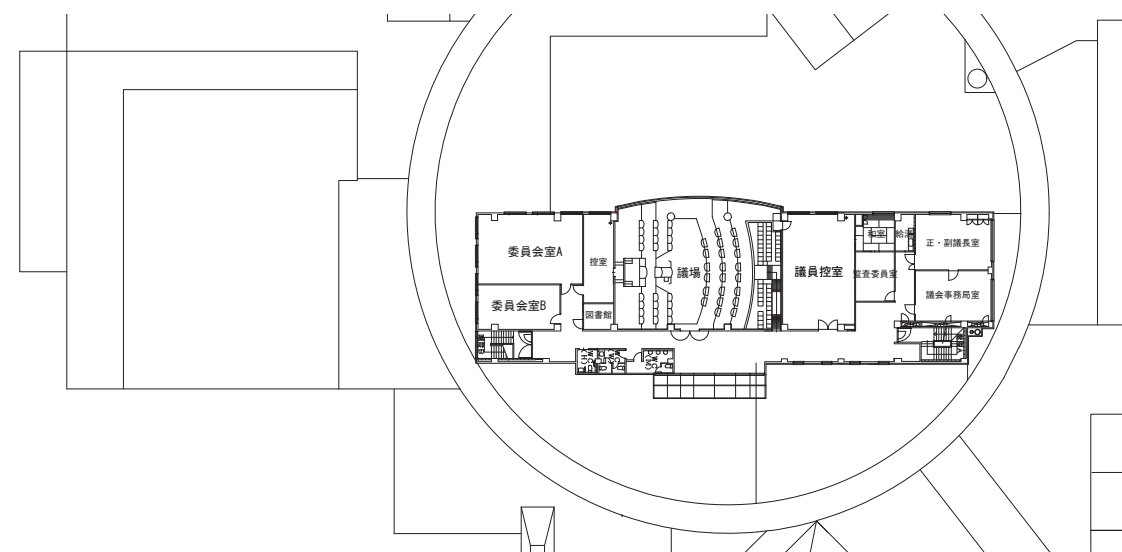
## 4 平面計画（北エリア 2階、地階）

### 4-8 文化機能

- ・文化ホールには、キャットウォークを均等に配置し、ホール全体を演出することができる計画とする。
- ・客席後方には調整室、客席中央にはフォロースポット室を計画する。

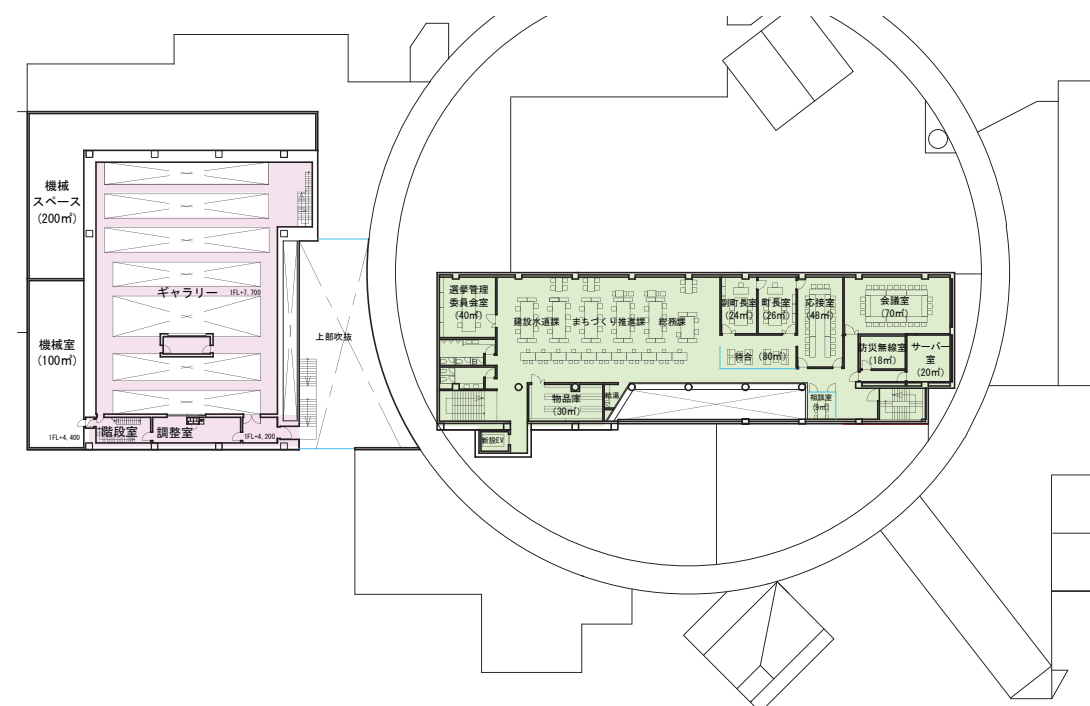
### 4-9 行政機能

- ・2階には町民利用の比較的小さい窓口、応接室、町長室、副町長室等を配置した計画とする。
- ・地階には職員のみが利用する、更衣室、休憩室、書庫、等を計画する。

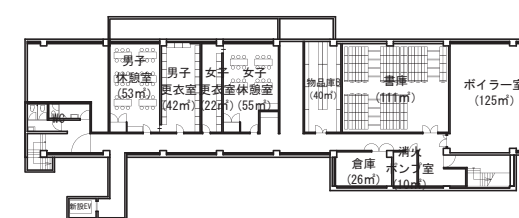


3階平面図 S=1:800

※ 既存庁舎3階部分は、改修を行わず既存利用とする。



2階平面図 S=1:800



地階平面図 S=1:800

### 凡例

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#f08080; border:1px solid black;"></span> 文化機能 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffcc99; border:1px solid black;"></span> 健康相談機能 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#c1e1c1; border:1px solid black;"></span> 行政機能 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#add8e6; border:1px solid black;"></span> その他 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#9933cc; border:1px solid black;"></span> 交流機能 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffff99; border:1px solid black;"></span> 診療機能   | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#808080; border:1px solid black;"></span> 車庫   |  |





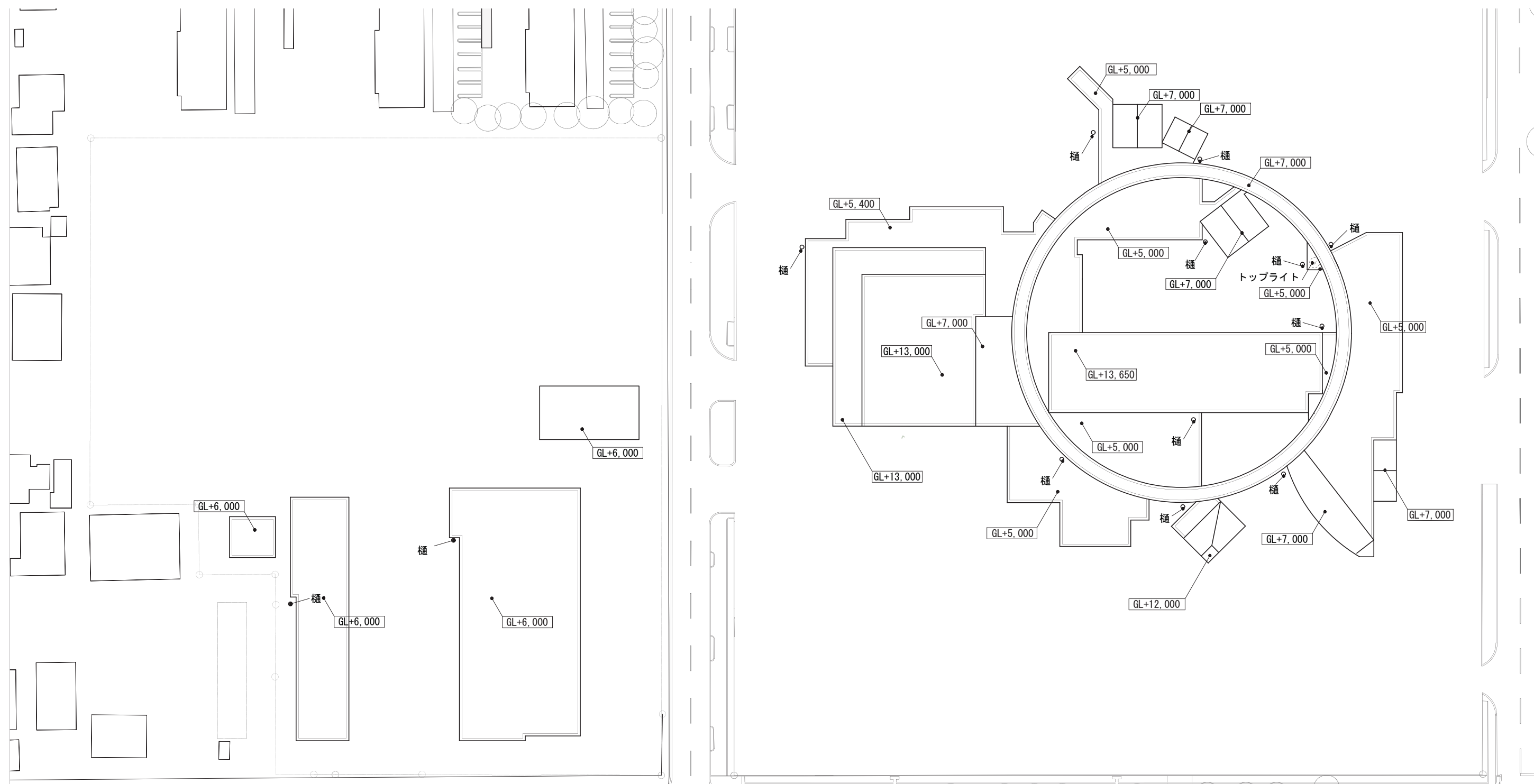
6 面積表

1. 文化機能			合計面積
			1561
1	文化ホール	講演、演劇、演奏会などの開催を想定し、大規模な会合など平面的利用に対応可能な文化ホール 客席 ・ 可動式の固定席300席程度と、椅子席200席程度の合計500席程度の規模。 ・ 収納庫に可動式で収納可能なものとし、平面的利用に対応可能。 ・ 可動式の固定席は上段席からも出入り可能。 照明設備諸室 ・ 講演、演劇、演奏会などの催しを想定し、操作が簡易な設備を検討。 音響設備諸室 ・ 講演、演劇、演奏会などの催しを想定し、操作が簡易な設備を検討。 搬入口、搬入経路、裏通路 ・ 音楽や演劇などで使用する楽器や大道具を出入れしやすい、広い搬入口及び、搬入経路を計画。 舞台	1045
2	サークル活動室1	・ 15名程度の利用を想定。	63
3	サークル活動室2	・ 15名程度の利用を想定。	50
4	サークル活動室3	・ 畳張りにし、和室としても利用可能。	20
5	防音スタジオ	・ 防音仕様とし音楽スタジオとして利用可能。	23
6	共用部（ホワイエ、自販機スペース、廊下、玄関、便所等）		360
小計			1561
2. 交流機能			合計面積
			1148
7	カフェ・サロン	・ 簡易な厨房機能を設置 ・ 30席程度の規模を想定。	100
8	回廊、共有部（廊下、玄関、便所等）	・ 多世代交流の場として計画。	940
9	展示ギャラリー	・ 常設とはせず、展示用の什器は全て可動式。 ・ 可変性の高い展示スペース。 ・ 交流機能の共用部と併用。	27
10	健康の駅	・ 利用しやすく、わかりやすい位置に設置。 ・ 測定機器などはブースで囲う。	19
11	花の駅、ボランティアセンター	・ 花の管理と販売を行う。	62
小計			1148
3. 健康相談機能			基本設計
			445
12	多目的交流室（保健指導室、リハビリ運動室）	・ 保健指導が可能な計画。 ・ 高齢者等が軽い体操、運動ができる規模、ホールのステージと同規模。 ・ キッズスペースとしても利用可能。	240
13	リハーサル室（健康相談室）	・ サークル活動室と併用	100
14	調理実習室	・ 30名程度の利用を想定。 ・ 調理台（講師用1台、他6台）。	105
小計			445
4. 診療機能			基本設計
			591
他の利用者への感染等を考慮し、配置及び、動線を検討。 必要な医療機器を揃えた整備を計画。			
15	診察室	・ 感染症患者と分けて診察可能とする。	14
16	検査室	-	9
17	処置室	-	19
18	中待合室	-	27
19	内視鏡室（検査、処置、洗浄）	・ 検査、処置、洗浄が行えるよう計画。	33
20	内視鏡準備室	-	14
21	検査室（聴力検査）	-	18
22	点滴室	・ 4名程度が同時利用可能な規模で計画。	35
23	待合室（感染用、幼児用）	・ 幼児用、感染者用に分けることができるよう計画。	80
24	レントゲン室（撮影室、操作室、保管室、心電図）	・ 心電図の測定もできるよう計画	23
25	事務室	-	24
26	所長室	-	11
27	応接室	-	11
28	休憩室（談話室）	-	19
29	更衣室	-	20
30	カルテ庫	-	12
31	物品庫（感染性廃棄物保管庫）	-	6
32	共用部（廊下、玄関、便所等）	-	166
33	調剤薬局	-	50
小計			591
5. 行政窓口・執務機能			基本設計
			2990
・ 利用者がわかりやすい位置に総合窓口案内を計画。 ・ 各種窓口届出、証明書の発行など、町民利用の多い窓口は1階に配置。 ・ 窓口カウンターは、ローカウンター、仕切板の採用を検討。			
	総務課	-	
	まちづくり推進課	-	
	税務課	-	
	くらしの窓口課	-	

32	執務室	健康ふくし課 産業振興課（森林組合） 建設水道課 会計課 教育推進課 こども未来課 農業委員会 議会事務局 打合せスペース ・ 業務打合せに適した小規模なスペース。 社会福祉協議会事務局 消費者協会事務局 選挙管理委員会 地域の元気づくり課 相談室 ・ 執務室の一角にパーティションで仕切ったブース型、個室型の相談室を設置。 ・ 子供連れに配慮した相談室の設置 更衣室 休憩室 印刷室 町長室 副町長室 教育長室 応接室	884
小計			1322
33	サーバー室		20
小計			20
34	物品庫・倉庫	物品庫（2F） 物品庫（1F） 物品庫（地下）	30 60 60
小計			150
35	会議室	会議室1 会議室2 会議室3 会議室	100 100 100 60
36	公民館活動室		20
37	特設スペース（臨時窓口、期日前投票所等）	・ 期日前投票、確定申告の混雑緩和のための臨時スペース。 ・ 利用者がわかりやすい位置に計画。	100
38	書庫	・ 利用機会の少ない書類、保存対象書類を保管。 ・ 将来的な保存量も想定した規模の書庫も整備。	111
39	共用部（廊下、玄関、便所等）		907
小計			1498
6. 車両格納機能			基本設計
			1800
40	公用車両		524
41	建設車両		965
42	バス		241
43	中央分団車庫		70
小計			1800
7. その他機能			基本設計
			462
44	キッズスペース	・ 待合スペースの位置に計画。	10
45	利便機能	・ 複合施設を介さずに外部から直接出入可能。	120
46	バス停待合	・ 大型バスの乗り入れを想定し計画	136
47	倉庫、防災倉庫	・ 建設資材、イベント備品などの保管スペース、犬猫保護スペースを計画。	145
48	守衛室		41
49	ごみの一時保管庫		10
小計			462
8. 防災機能			基本設計
			0
停電時の避難所として利用可能なよう、既設の自家発電機も含めて、電源供給を計画。			
41	災害対策室	・ 放送・通信設備の設置 ・ サークル活動室と併用	(200)
42	防災備蓄倉庫	・ 防災物品の搬出入を考慮した位置に計画。（駐車スペースからの搬入も可能） ・ その他機能の倉庫と併用	(64)
43	避難スペース	・ 100名程度を収容できる規模。 ・ 文化ホールと併用	(320)
44	共用部（廊下、玄関、便所等）	・ 文化機能の共用部と併用	(153)
小計			0
45	機械設備置き場	・ 電気設備、機械設備を屋外、屋内に設置。※合計面積に含まず	(300)
小計			0
合計			8997
			内既存利用面積 2362 新整備面積 6635

## 7 屋根計画

- ・勾配屋根部分はアスファルトルーフィング+アルミ性の瓦棒葺きとする。
- ・屋根のアルミ板は外壁の色調に合わせる計画とする。
- ・陸屋根部分はアスファルト防水+保護コンクリートとする。
- ・既存建物部分の外壁については、既存の外壁仕上げ材を残し利用する計画とする。
- ・必要であれば、一部にトップライトを設け室内に明かりを取り込む計画とする。



配置図 S=1:800



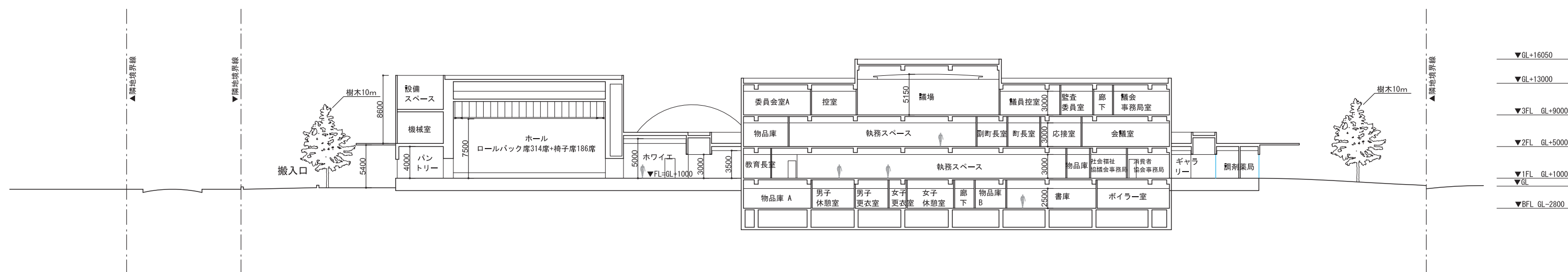
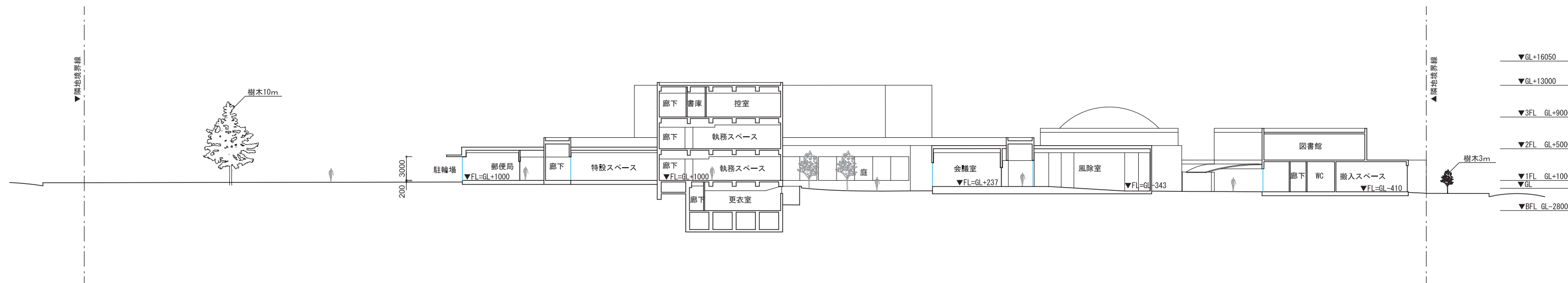
## 8 断面計画

### 8-1 全体計画

- ・搬出土量の軽減、及び敷地特性を考慮し、可能な限り地形に合わせた床高さを計画する。
- ・新築部分は基本的に1層の構成とし、文化ホールは内部の設備仕様に合わせた2層構成とする。

### 8-2 天井高さ

- ・天井高さは回廊部分 3.0 m、ホワイエ 5.0 m で計画する。
- ・文化ホールの天井高さ及び形状は、室内の音響、舞台設備に適した計画とする。



## 9 立面計画

### 9-1 全体計画

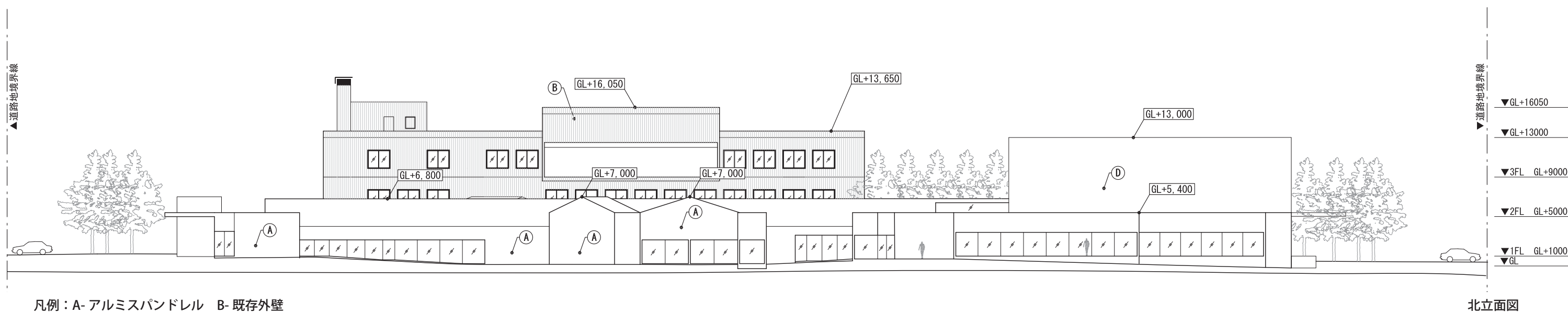
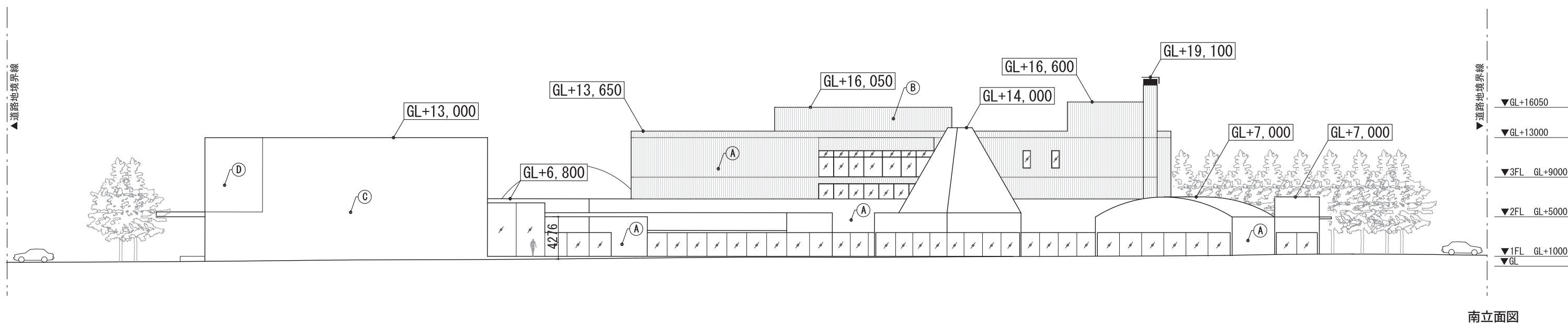
- ・建物周囲を8mの樹木で囲うことで、新しい地域のランドマークとなるシンボル性、東神楽の風景を表現した立面計画とする。
- ・主要な施設の上部には塔を設けることで、遠くの人へ施設の位置を示す目印であるとともに、さまざまな居場所や、異なる機能が集まっているこの複合施設の多様さと、まとまりを両立した風景を表現した立面計画とする。

### 9-2 色彩計画

- ・全体の色調は今後の検討によるが、シンボル性、地域住民が憩う和やかなイメージを表現した計画とする。

### 9-3 窓・外装計画

- ・回廊や各施設は明るく開放的な空間になるよう大きな窓を計画する。
- ・外装材はメンテナンス性の配慮した素材を選定する。
- ・敷地周辺が適切な音環境となるよう遮音性に配慮した外装計画とする。



凡例：A- アルミスパンドレル B- 既存外壁

10 仕上計画

9-1 外部仕上げ計画

長きにわたり地域に親しまれる施設にふさわしい素材を選定するとともに、メンテナンス性及び、耐久性のある素材を選定する。

- ・屋根 勾配部分 : アスファルトルーフィング + アルミ性の瓦棒葺き  
陸屋根部分 : アスファルト防水 + 押えコンクリート
- ・外壁 アルミ性の瓦棒葺き
- ・建具 アルミ性サッシュ及び スチールドア、サッシュ
- ・ガラス 単板ガラス、ペアガラス、防音合わせガラス
- ・外部舗装 アスファルト舗装 (一部ロードヒーティング)

9-2 内部仕上げ計画

来館者が心地よく内部で過ごすことができるよう、やさしく親しみやすい計画とする。  
清掃、メンテナンス性に十分考慮した仕上げ材とする。

特に留意が必要な諸室について

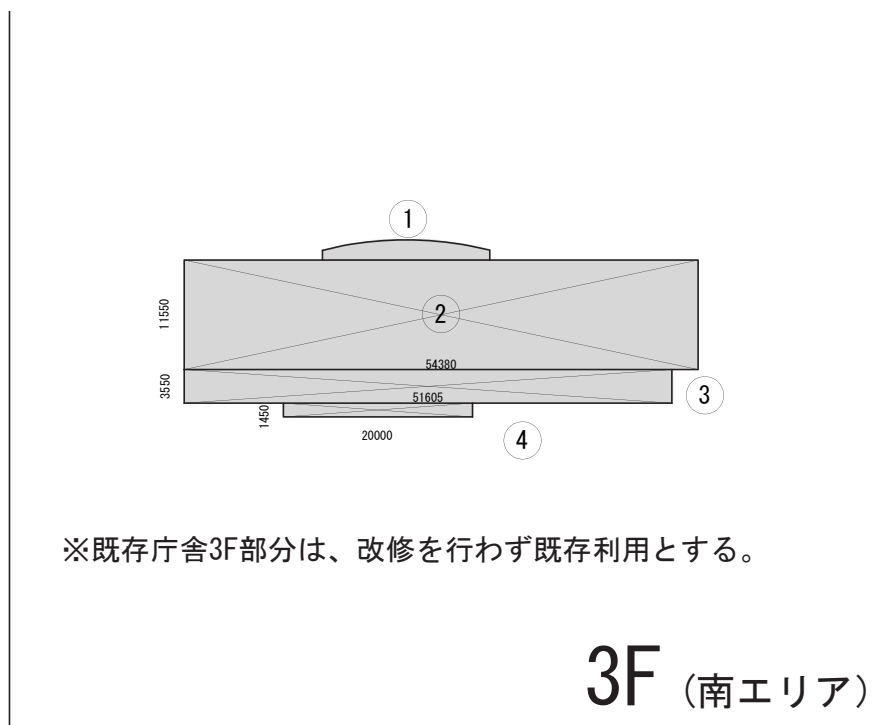
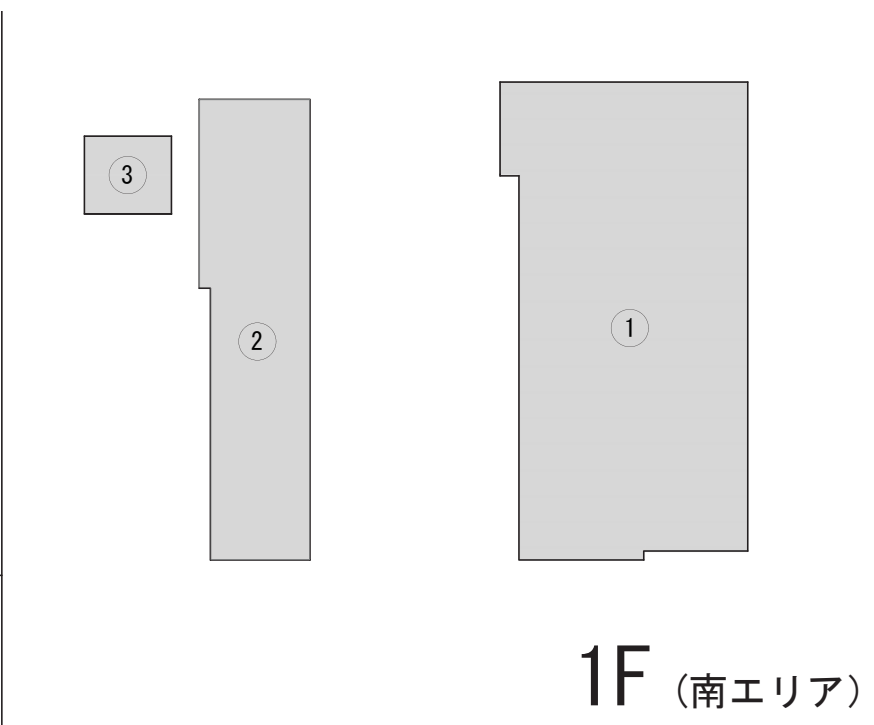
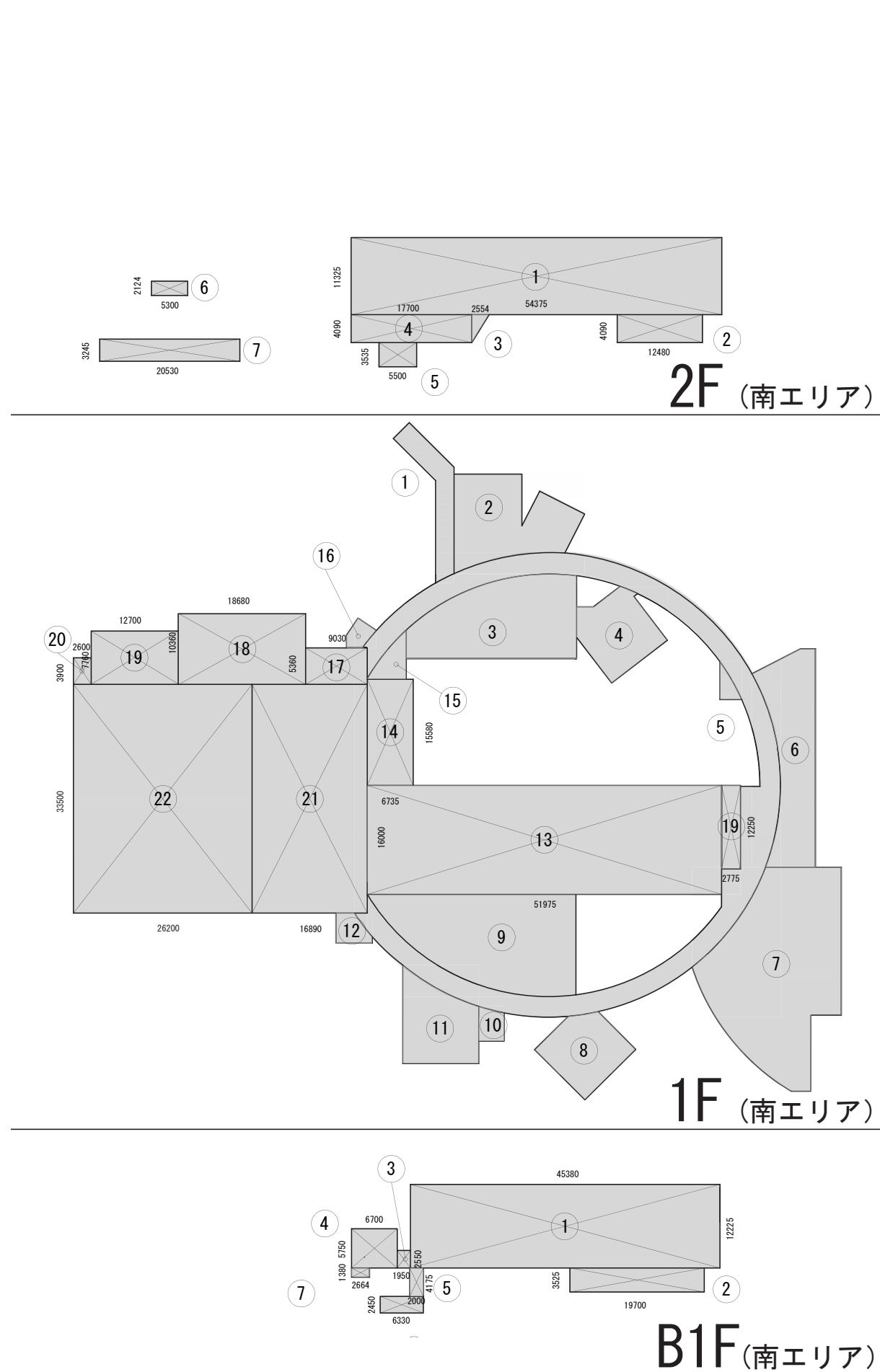
- ・文化ホール：演者、観客にとって快適な環境を演出すると共に、遮音性能、吸音性能など音響性能を十分満たす仕上げとする。
- ・控室、リハーサル室、防音スタジオ：遮音性能、吸音性能を十分に満たす仕上げ材とする。

※主要諸室の仕上げは下表の通りとする。

機能	室名	天井高 (mm)	床		
			床	壁	天井
文化	客席	7,500	フローリング	側面：石膏ボード 不燃木仕上げ、後方：ガラスクロス ホリブ	-
	舞台	7,500	フローリング	上部：化粧GWガラスクロス吸音板、下部：木毛セメント板	-
	調整室、フォロースポット室	4,000 2,700	タイルカーペット	化粧GWガラスクロス吸音板	化粧GWガラスクロス吸音板
	搬入口	5,000	RC 金鍍仕上げ	上部：化粧GWガラスクロス吸音板、下部：木毛セメント板	化粧GWガラスクロス吸音板
	技術ギャラリー	2,700	スチールグレーチング	側面：石膏ボード 不燃木仕上げ、後方：ガラスクロス ホリブ	塗装 石膏ボード
	廊下、収蔵庫、パントリー	4,000	ビニル床シート	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	サークル活動室	4,000	ビニル床シート	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	防音スタジオ		タイルカーペット	仕上側：EP塗装 有孔ケイ酸カルシウム板 サランネット 石膏ボード 遮音層：グラスウール 硬質石膏ボード 強化石膏ボード	塗装 ケイ酸カルシウム板 塗装 石膏ボード 防振ハンガー
	ホワイエ		RC 表面硬化剤塗布	不燃木仕上げ 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	交流	カフェ・サロン	4,000	RC 表面硬化剤塗布	塗装 硬質石膏ボード
花の駅・ボランティアセンター		RC 表面硬化剤塗布		塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
回廊 (通路)		3,000	RC 表面硬化剤塗布	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
回廊 (本棚、展示ギャラリー、健康の駅など)		4,000	RC 表面硬化剤塗布	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
風除室			RC 表面硬化剤塗布	塗装 シーシング石膏ボード	岩綿吸音板 ケイ酸カルシウム板
健康	多目的交流室、リハーサル室、調理実習室	4,000	フローリング	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
診療	診察室、処置室、待合室、調剤薬局	4,000	ビニル床シート	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	所長室、応接室、休憩室		タイルカーペット	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
行政・執務	執務室・待合室・打合せ室	3,000	タイルカーペット	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	相談室		タイルカーペット	スチール枠ガラスパーティション	-
	物品庫・倉庫・書庫		ビニル床シート	塗装 硬質石膏ボード	化粧PB
車両格納	車庫	5,000	RC 刷毛引き	塗装 シーシング石膏ボード	塗装 ケイ酸カルシウム板
	詰所		タイルカーペット	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
その他	キッズスペース、利便機能、守衛室	3,000	タイルカーペット	塗装 硬質石膏ボード	岩綿吸音板
	バス停待合		RC 表面硬化剤塗布	塗装 シーシング石膏ボード	岩綿吸音板 ケイ酸カルシウム板
	倉庫、防災倉庫	5,000	長尺塩ビシート	塗装 硬質石膏ボード	塗装 石膏ボード
	ごみの一時保管庫	4,000	RC 金鍍仕上げ	塗装 シーシング石膏ボード	岩綿吸音板 ケイ酸カルシウム板



11 面積算定図



※既存庁舎3F部分は、改修を行わず既存利用とする。

各階面積根拠 (北エリア)		
番号	根拠式	面積
B1F		
1	12.225 × 45.380	554.77
2	3.525 × 19.700	69.44
3	2.55 × 1.950	4.97
4	6.7 × 5.700	38.19
5	4.7 × 2.000	9.40
6	6.33 × 2.450	15.51
7	1.38 × 2.660	3.67
合計		695.95

各階面積根拠 (北エリア)		
番号	根拠式	面積
2F		
1	54.375 × 11.325	615.80
2	4.090 × 12.480	51.04
3	CAD図による	5.20
4	4.090 × 17.700	72.39
5	3.535 × 5.500	19.44
6	2.124 × 5.300	11.26
7	20.530 × 3.245	66.62
合計		841.75

各階面積根拠 (北エリア)		
番号	根拠式	面積
1F		
1	CAD図による	70.954
2	CAD図による	186.19
3	CAD図による	255.18
4	CAD図による	108.76
5	CAD図による	9.739
6	CAD図による	197.28
7	CAD図による	475.51
8	CAD図による	104.54
9	CAD図による	342.99
10	CAD図による	17.07
11	CAD図による	121.66
12	CAD図による	18.71
13	51.970 × 16.000	831.52
14	15.580 × 6.735	104.93
15	CAD図による	22.7
16	CAD図による	11.79
17	9.030 × 5.360	48.40
18	18.680 × 10.360	193.52
19	12.700 × 7.760	98.55
20	3.6 × 2.600	9.36
21	16.890 × 33.5	565.82
22	26.2 × 33.500	877.70
合計		4672.88

各階面積根拠 (北エリア)		
番号	根拠式	面積
3F		
1	CAD図による	31.56
2	51.605 × 11.550	596.04
3	51.605 × 1.450	74.83
4	20.000 × 1.450	29.00
合計		731.43

各階面積根拠 (南エリア)		
番号	根拠式	面積
3F		
1	CAD図による	1232.73
2	CAD図による	537.16
3	CAD図による	75.44
合計		1845.33

面積根拠 (南エリア)		
番号	根拠式	面積
3F		
B1F合計		695.95
1F合計		4672.88
2F合計		841.75
※面積に含まず (3F合計)		(731.43)
南エリアF合計		1845.33
合計		8055.91

文化ホール舞台計画

1 基本コンセプト

・さまざまな使い方に対応できるフレキシブルな計画

- ・客席は移動観覧席 314 席、椅子 186 席を最大とし、収納することで平土間としても利用可能。
- ・舞台上部には、昇降式の道具バトン、幕バトンを配置。  
かつ簡単なフライタワーを設け、若干の転換スペースを確保。
- ・客席上部には、ギャラリーを配置し、客席を収納した平土間時にホール全体の照明演出が可能。

・安全性に配慮した計画

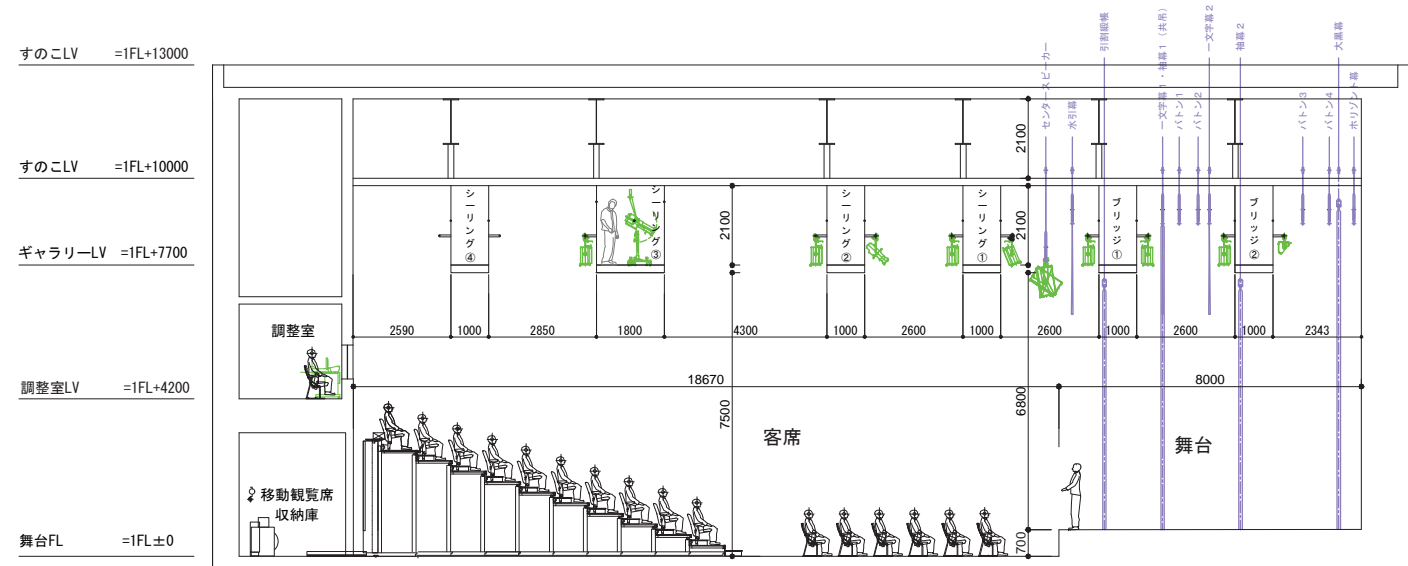
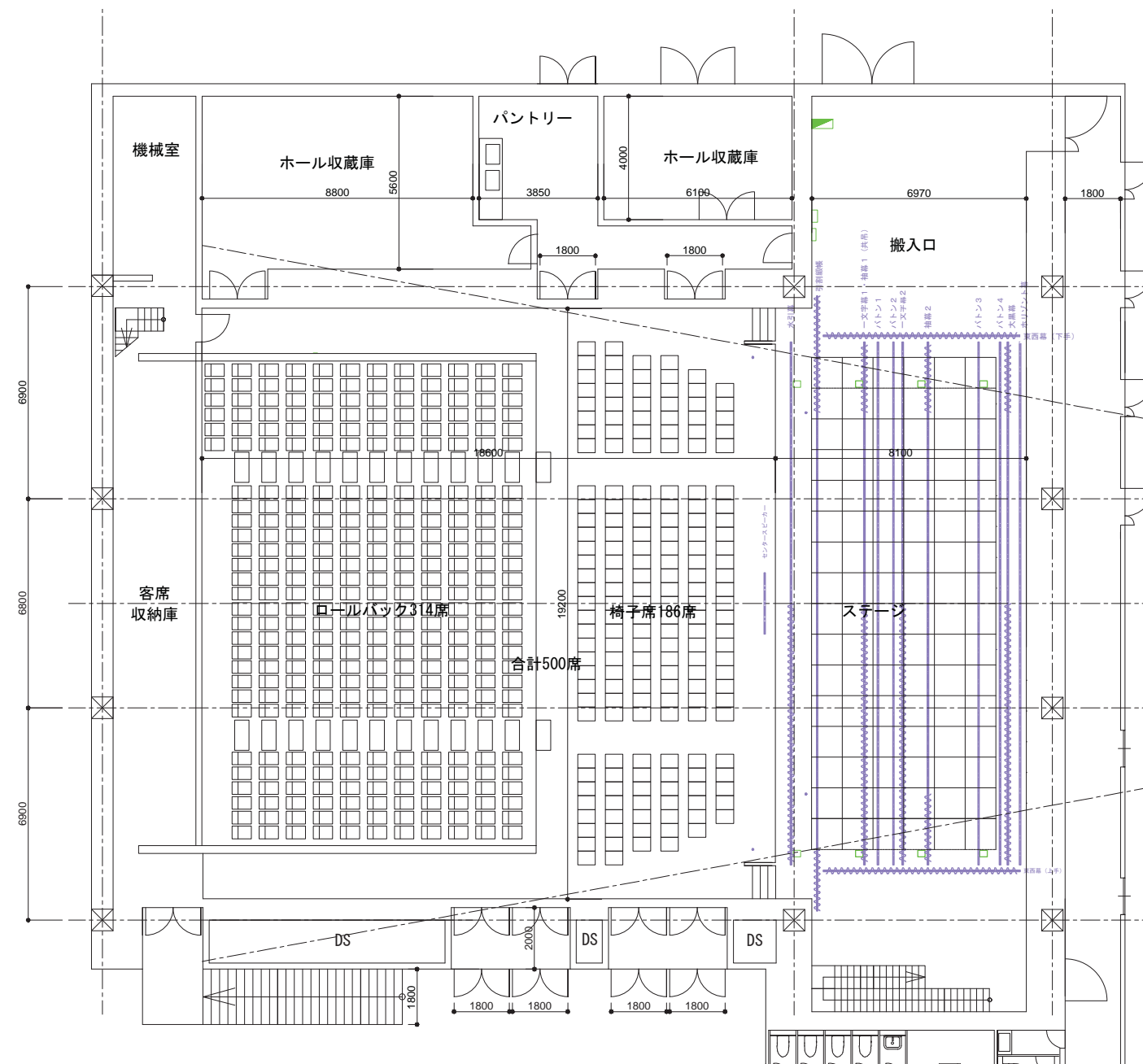
- ・舞台上部の昇降バトンは電動昇降装置を採用し、一般の方でも安全で容易に利用できる計画。
- ・各ギャラリーには照明機器を安全に吊ることができるよう手すりを設置。

・外部持ち込み機器に対応した計画

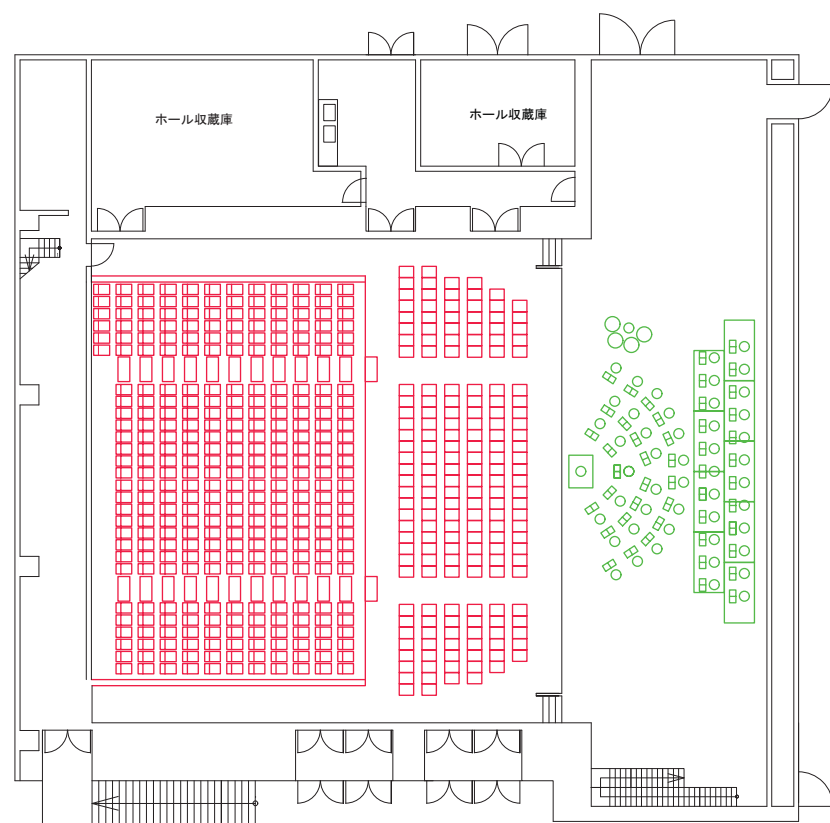
- ・各ギャラリーにはコンセントと照明回路を用意し、外部から照明機材を持ち込んだ際に接続可能。

・使いやすい舞台設備

- ・舞台後方の調整室と、舞台下手袖に操作卓を設置し、全ての舞台設備設備を一元的に操作可能。



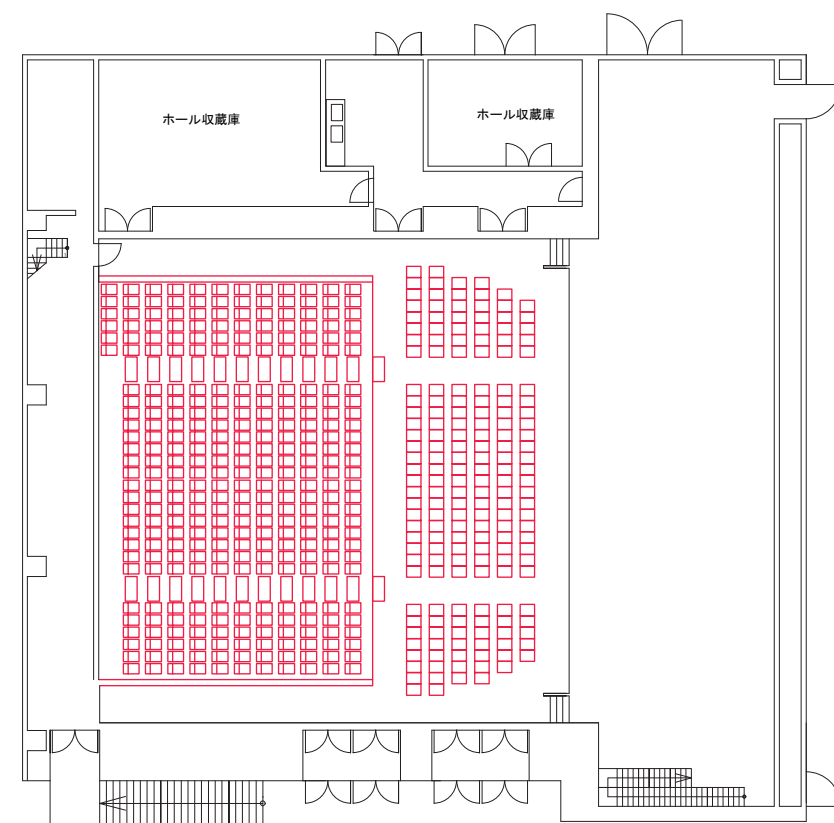
2 レイアウトパターン



**音楽利用**

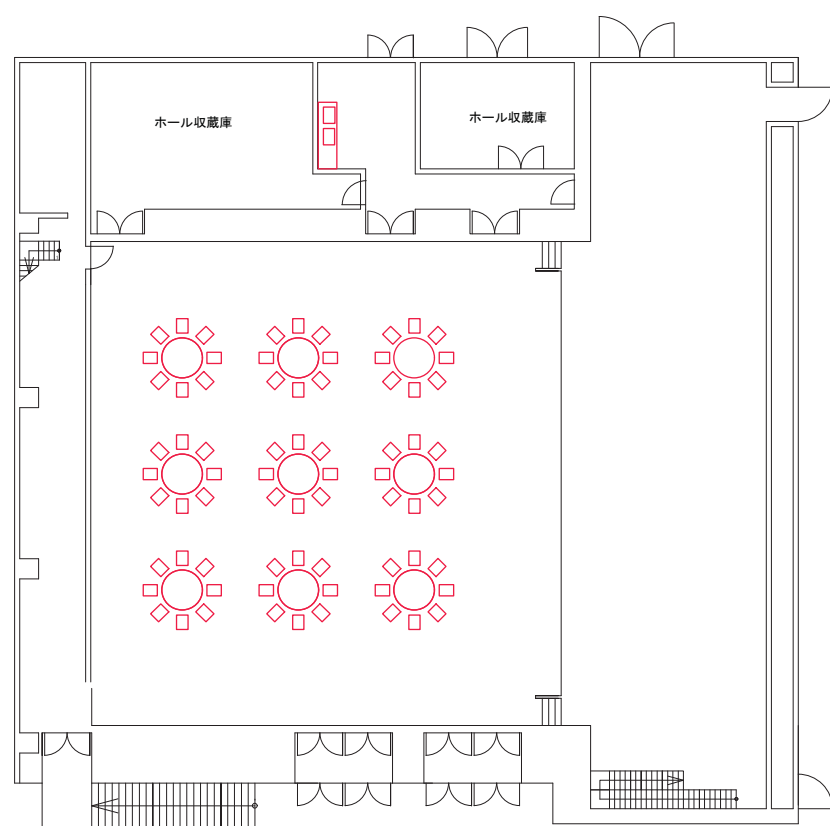
50人規模の吹奏楽

ロールバック 314席  
椅子 186席



**演劇利用**

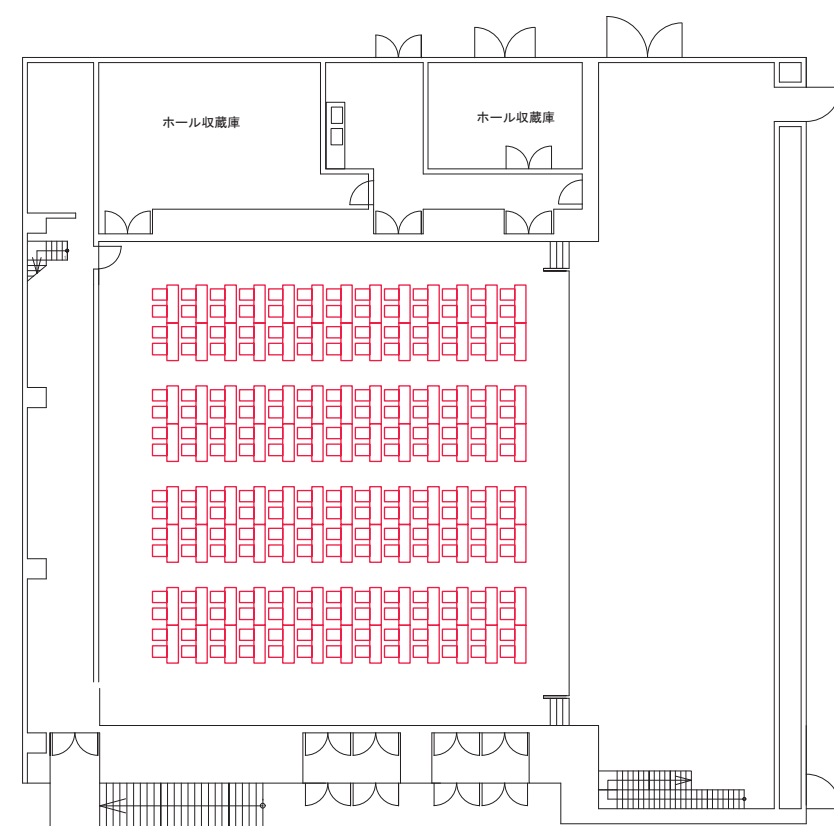
ロールバック 314席  
椅子 186席



**パーティ利用**

70人規模の宴会など

机 φ1600 9台  
椅子 72席



**講演会利用**

200名規模の講演会

長机 450×1500 104台  
椅子 208席

さまざまな使い方に対応できるフレキシブルな計画とします。



第4章 外構計画

1 外構 植栽 / 舗装計画平面図

■下草 面積8,385㎡



- 候補品種  
 ・コウエンシバ  
 ・サギゴケ  
 ・タイリンウツボグサ  
 ・アセチルベ

など

■木立の森 樹高5.0m 合計18本

候補樹木 / ハルニレ



■円形の樹木 樹高5.0m 合計130本

候補樹木 / カラマツ, カラコギカエデ, ヤマナラシエクタ



■色彩豊かなボーダー 面積3,639㎡

- 候補品種  
 ・アストロメリア  
 ・クロッカス  
 ・すいせん  
 ・ムスカリ  
 ・チューリップ  
 ・ラベンダー

など



■既存樹木の保存

既存樹木 / イチョウ, オンコ, モミジ



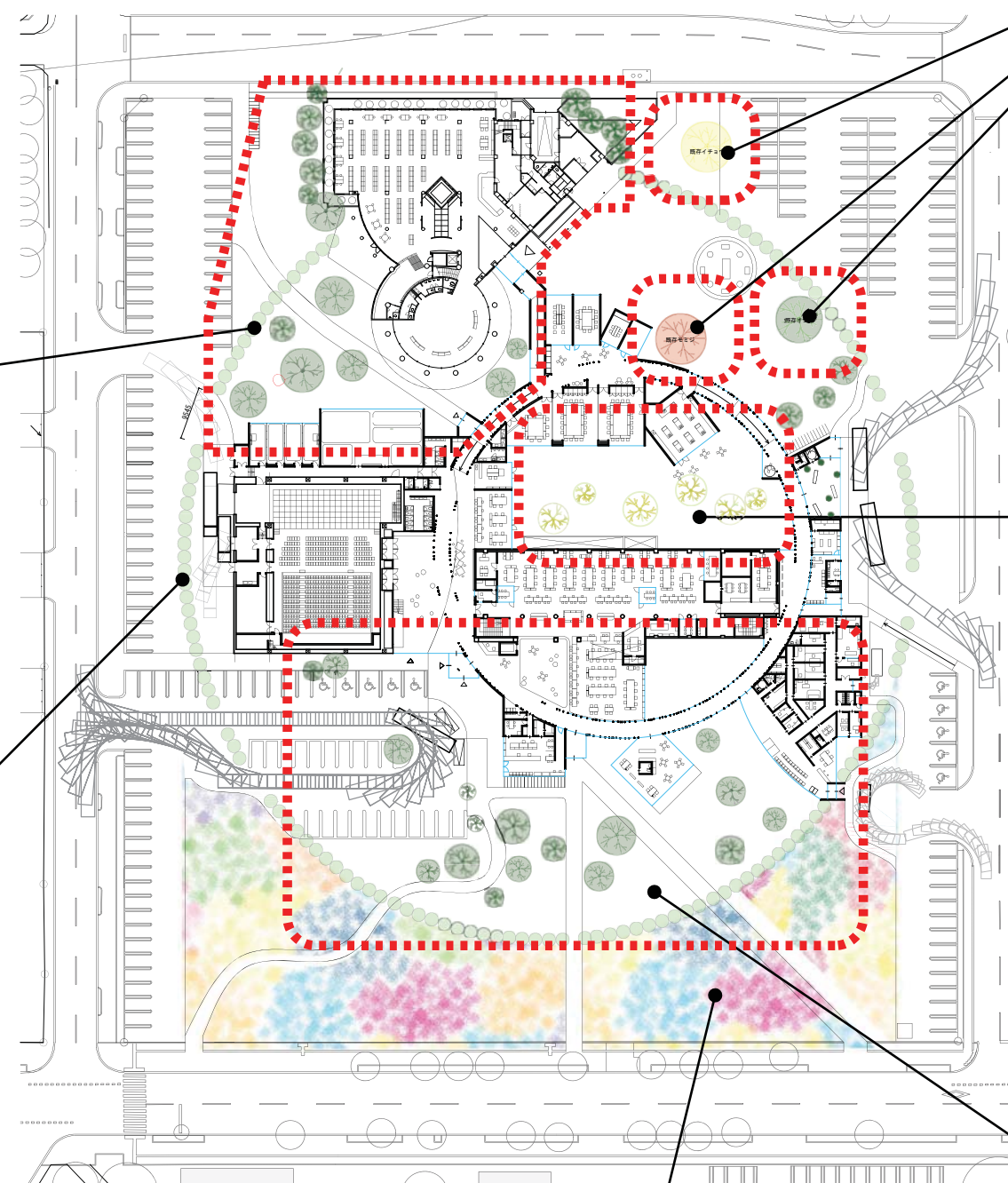
■ピクニックの森 樹高5.0m 合計9本

候補樹木 / エゾヤマザクラ, カツラ



■実りの森 樹高5.0m 合計16本

候補樹木 / ミズナラ





## 5-1 電気設備計画

### 1. 基本的な考え方

- (1) 高い町民サービスの充実
  - ・案内表や町政情報発信のため、デジタルサイネージやディスプレイなどスマートな技術を取り入れた計画とします。
- (2) 災害拠点機能
  - ・災害停電時に非常用発電設備により、主要機器に電力供給を行い、災害時に業務継続を行うための機能を維持します。
- (3) 利便性・快適性
  - ・施設利用者及び職員に対し、使い勝手が良く、利便性の高い設備計画とします。
- (4) 環境配慮・省エネルギー
  - ・高効率で消費電力の少ない機器を採用し、エネルギー制御も取り入れ、使用電力の削減を図ります。

### 2. 電気設備概要

- (1) 受変電設備
  - ・積雪、耐久性、メンテナンス性を考慮し、キュービクルを設置します。
- (2) 非常用発電機設備
  - ・防災電源として、非常用発電機を設置し、停電時に電源供給を行います。
- (3) 幹線設備
  - ・幹線は、キュービクルからE P Sを経由し、各施設の分電盤、動力盤、機器に供給するものとします。
  - ・主要ルートは、将来増設を考慮し、天井内・E P S・屋上共にケーブルラック配線とします。
- (4) 動力設備
  - ・機械室に動力制御盤を設置し、空調、衛生設備負荷に電源を供給し、制御を行います。
- (5) 電灯コンセント設備
  - ・E P Sに分電盤を設置し、照明器具、コンセントへ電源を供給し、制御を行います。
  - ・照明器具はL E D器具を主として採用し、消費電力及び保守費の低減を図ります。
  - ・点滅区分は省エネルギーを考慮し細分化した計画とします。
  - ・個室のスイッチはタンブラスイッチとします。
  - ・ホール、廊下等の共用部、執務室はリモコンスイッチとし、遠方と手元のスイッチの両方で点滅します。
  - ・外部照明は自動点滅器とタイマー回路を設け点灯・消灯を行います。
  - ・階段、便所等は人感センサーによる点滅とし、消し忘れを防止します。
  - ・コンセントの形状は2 P 1 5 Aを基本とし、その他用途に応じた仕様のコンセントを適宜設置します。
- (6) 構内情報通信網設備
  - ・役場庁舎2階に設置するサーバー室より各所L A N端子までの配管配線を行います。
  - ・サーバー、ハブ、ハブ収納ラック、無線アクセスポイント等の機器、U P Sは別途工事とします。

- (7) 構内交換設備
  - ・M D F端子盤を新設し、各所の電話機までの配管配線を行います。
  - ・電話交換機、電話機などの機器は別途工事とします。
- (8) 情報表示設備
  - ・庁内の正確な時刻表示のために、電波時計を必要箇所に設置します。
  - ・1階ホール等に庁舎内の情報を表示するデジタルサイネージの設置を検討します。
  - ・デジタルサイネージの機器は別途工事とします。
- (9) 映像音響設備
  - ・映像音響装置は、部屋の規模・使用人数・使用目的を検討し、機能・性能を満足するシステムを構成します。
- (10) 拡声設備
  - ・館内放送及び火災時の非常放送用に非常業務兼用アンプ、スピーカを設け、拡声設備を構築します。
  - ・総務課に非常業務兼用アンプ架、守衛室に非常業務兼用リモートマイクを計画します。
- (11) 誘導支援設備
  - ・南及び西出入口にインターホン子機、親機を守衛室、副親機を総務課に設置します。
  - ・玄関風除室に障がいのある方用インターホンを設置し、受付と通話することにより、障がいのある方の誘導案内を行います。
  - ・多目的W Cに呼出しボタン及び表示灯・復旧ボタン、総務課に表示盤、守衛室に副表示盤を設置し、緊急呼出対応を行います。
- (12) テレビ共同受信設備
  - ・施設屋上にアンテナを設置しテレビ放送を受信します。
  - ・E P Sに分岐器、分配器を設置し、必要箇所に設置するテレビ端子にて視聴可能とします。
- (13) 監視カメラ設備
  - ・施設内の安全確保を図ると共に警備員が館内の状況を把握するために、監視カメラを外部及び共用部各所に設置し、録画装置・モニターを守衛室に設置します。
  - ・機械警備システムとの連動も検討します。
- (14) 防犯・入退室管理設備
  - ・セキュリティ計画に合わせ認証装置を設置し、利用者の利用可能エリアを限定すると共に、職員について取扱う内容に合わせて入室を制限できるように計画します。主装置は守衛室に設置し、総務課に副装置を設置します。
  - ・外部からの侵入経路となる諸室や廊下等に赤外線センサー等を設置し、夜間の機械警備を行います。
- (15) 自動火災報知設備
  - ・建物内の火災等の早期発見、避難誘導が安全、確実にできるように自動火災報知設備を計画します。
  - ・複合受信機は守衛室、副受信機は守衛室に設置します。
- (16) 構内配電線路設備
  - ・電力引込は敷地内西側に構内柱を設置し北海道電力より高圧架空供給を受けます。
  - ・構内柱以降は地中管路にて施設内E P Sを経由し、キュービクルに引込みます。
- (17) 構内通信線路設備
  - ・通信引込は敷地内西側に構内柱を設置しNTT等の通信業者より架空供給を受けます。
  - ・構内柱以降は地中管路にて施設内E P Sを経由し、サーバー室に引込みます。

## 5-2 機械設備計画

### 1. 基本的な考え方

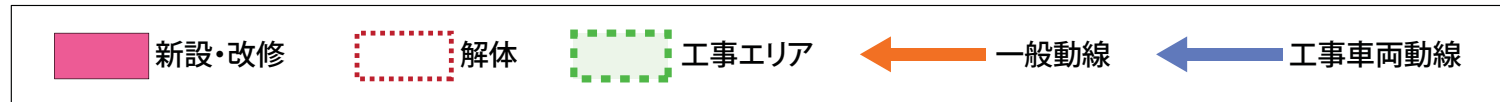
- (1) 災害拠点機能
  - ・災害時においても、給水及び排水機能が維持できる計画とします。
  - ・災害時における災害復旧活動が想定される会議室等の空調や、換気設備の機能が維持できる計画とします。
  - ・災害時でも落下の恐れのない床置き型機器を採用する計画とします。
- (3) 利便性・快適性
  - ・施設利用者及び職員に対し、使い勝手が良く、利便性の高い設備計画とします。
- (4) 環境配慮・省エネルギー
  - ・地域の特性を活かし自然エネルギーを導入する設備計画とします。
  - ・再生可能エネルギーの利用を計画します。
  - ・各室の用途に応じた、適正な空調設備計画とします。
  - ・適正に運転制御ができる計画とします。
- (5) 経済性・メンテナンス性への配慮
  - ・イニシャルコストとランニングコストのバランスを考慮した計画とします。
  - ・有資格者が不要なシステムを検討します。
  - ・維持管理が容易なシステムを計画します。
  - ・機器は汎用品を採用し、メンテナンス、機器更新に配慮します。
  - ・管理を一元化することで運転効率の向上を図ります。
  - ・機器増設、更新を容易にできる拡張性のあるシステムを計画します。
- (6) ユニバーサルデザイン
  - ・高齢者、幼児、障がいのある方々へ配慮し、使いやすい設備機器、器具を計画します。

### 2. 機械設備概要

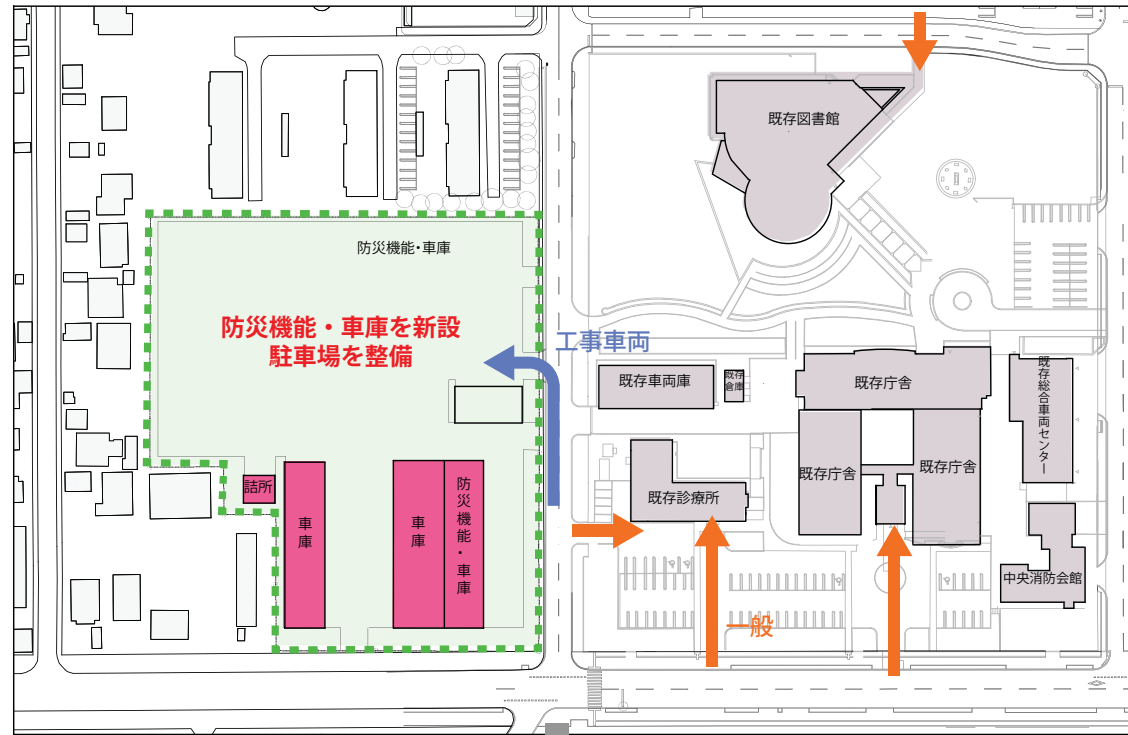
- (1) 空調設備
  - ・当該敷地の気象データに基づき、屋内、屋外条件を補正し、設計条件を計画します。
  - ・空冷式ヒートポンプチラー＋水冷式地中熱ヒートポンプチラーなどの採用を検討し、各室の容量などを考慮し、適切な機器を計画します。
- (2) 換気設備
  - ・外気処理空調機及び全熱交換機ユニットによる第1種換気を主として計画します。
  - ・トイレ排気等臭気を含む室の換気は第3種換気として計画します。
- (3) 自動制御設備
  - ・熱源機器、空調機運転制御、搬送機器のインバータ制御及び台数制御、機器遠方発停・監視・計測などを行い機器の効率的な運転や省エネルギー化を図るとともに、施設利用者への利便性の向上を図るために自動制御設備を計画します。
- (4) 衛生器具設備
  - ・利用者は幅広い年齢層が対象となり、更に障がいのある方に対しても、きめ細かな配慮が必要となるため、清潔性の保持、ユニバーサルデザイン対応、オストメイト対応等の機能性、操作容易性及び安全性を考慮した衛生器具を設置します。
- (5) 給水設備
  - ・地下水を水源とし計画します。(既存役場庁舎の井戸あり)

- (6) 給湯設備
  - ・給湯方式は、維持管理の容易性及び安全性を考慮し、貯湯式電気温水器による局所給湯を主として計画します。
- (7) 排水設備
  - ・施設の排水は汚水、雑排水、雨水の3系統の分流方式とし、各排水は町公共下水道本管に接続し、放流します。
- (8) 消火設備
  - ・消防設備は、消防法・同施行令・同施行規則による他、大雪消防組合火災予防条例に基づき必要な設備を設けます。
- (10) 融雪設備
  - ・除雪対策として、施設アプローチ部分にロードヒーティングを敷設します。ロードヒーティングの熱源は再生可能エネルギーの活用を検討し、ランニングコストを考慮し計画します。

ローリング計画の提案

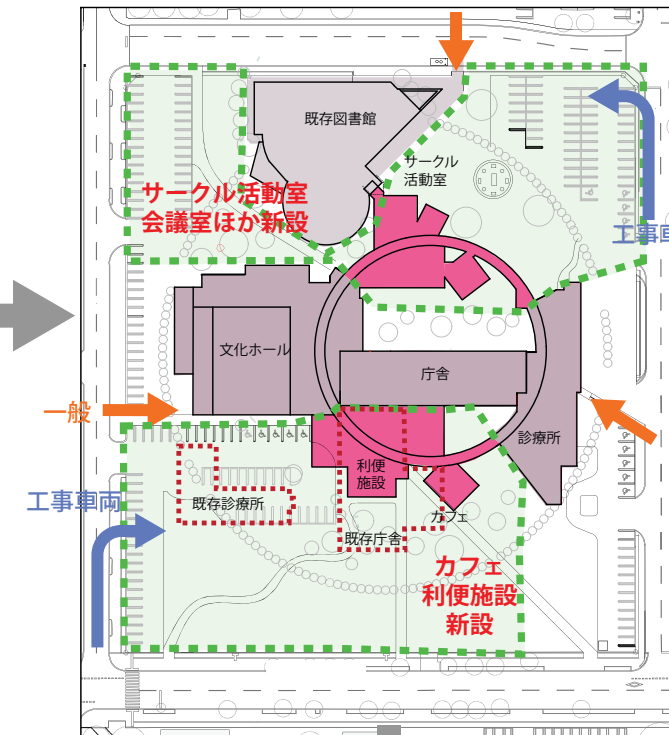


第1期工事 4ヶ月



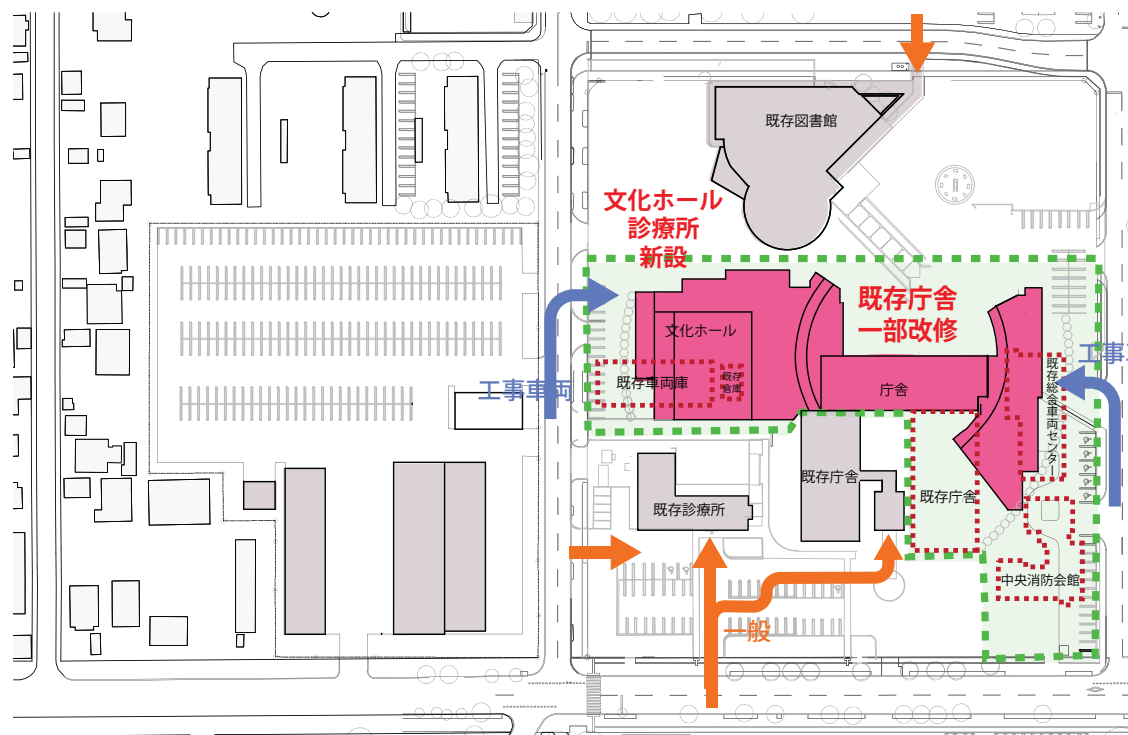
- 1. 車庫新設  
S造 1600㎡
- ↓
- 2. 外構工事  
12,000㎡

第3期工事 10ヶ月



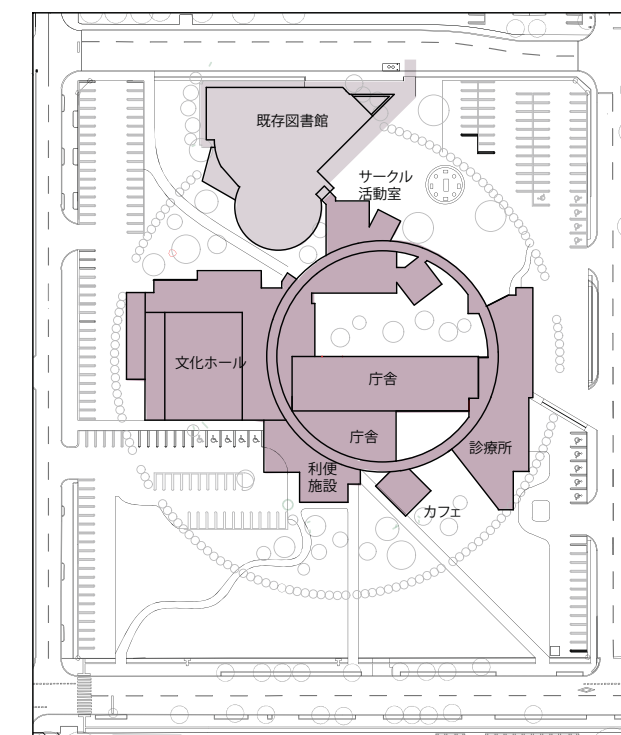
- 1. 既存庁舎 解体  
RC造 1700㎡
- ↓
- 1. 既存診療所 解体  
CB造 700㎡
- ↓
- 2. カフェ 新設  
S造 100㎡
- 2. サークル活動室等  
新設  
S造 455㎡
- 2. 交流機能新設  
S造 600㎡
- 2. 行政機能新設  
S造 300㎡
- 2. その他機能新設  
S造 120㎡
- ↓
- 3. 外構工事  
12000㎡

第2期工事 1年7ヶ月



- 1. 既存中央消防会館 解体  
RC造 730㎡
- 1. 既存総合車両センター 解体  
S造 800㎡
- 1. 既存車両庫・倉庫 解体  
S造 480㎡
- ↓
- 1. 既存庁舎 解体  
RC造 700㎡
- ↓
- 2. 既存庁舎改修+行政機能新設  
RC・S造 1600㎡
- 2. 診療所 新設  
S造 560㎡
- 2. 文化機能+健康相談機能 新設  
RC・S造 1700㎡
- 2. 交流機能 新設  
S造 400㎡
- ↓
- 3. 外構工事

工事完了時

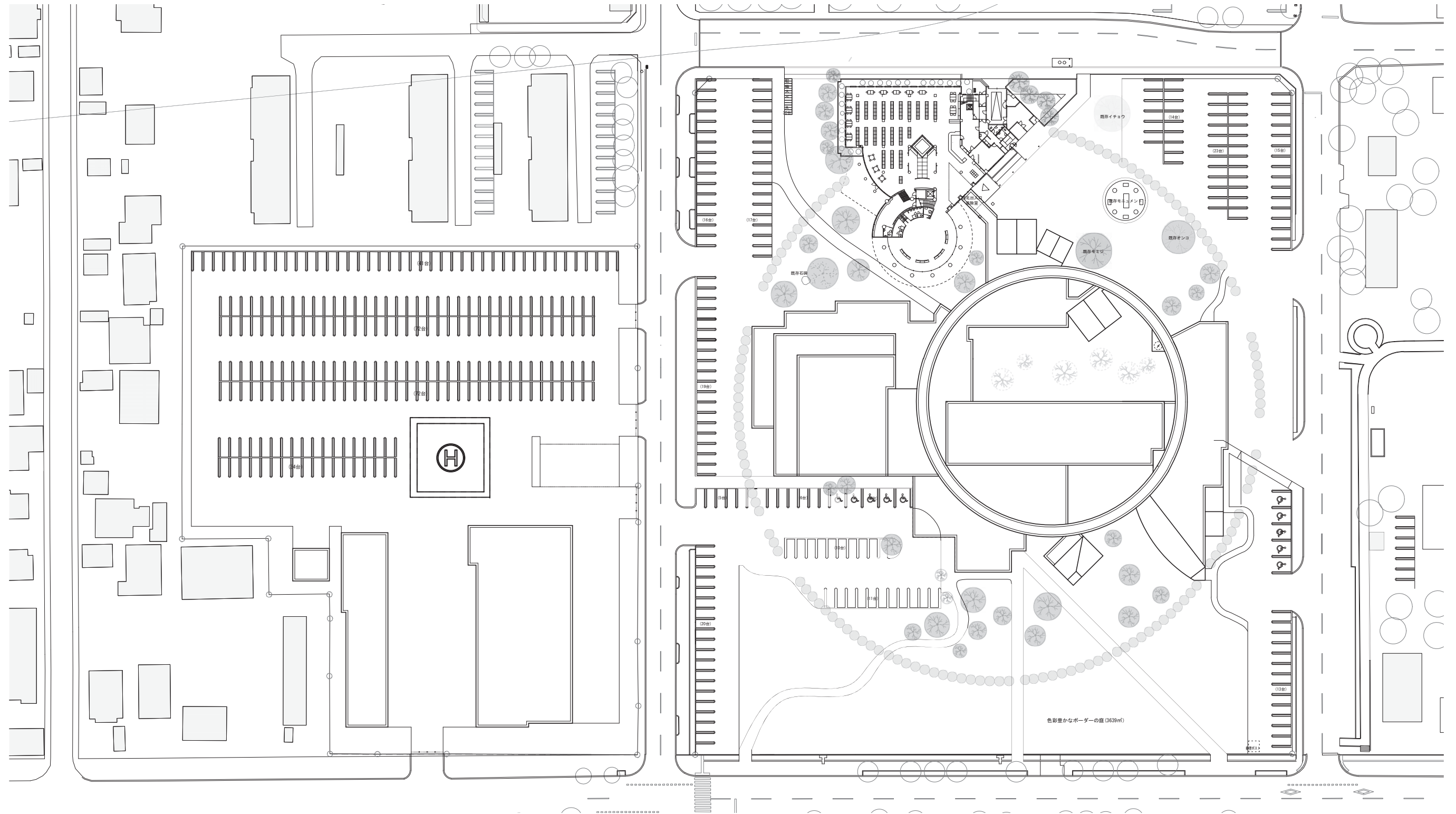


- 第1期工事 4ヶ月
- 第2期工事 1年3ヶ月
- 第3期工事 10ヶ月
- 建築工事期間 計2年7ヶ月



第7章 基本設計図

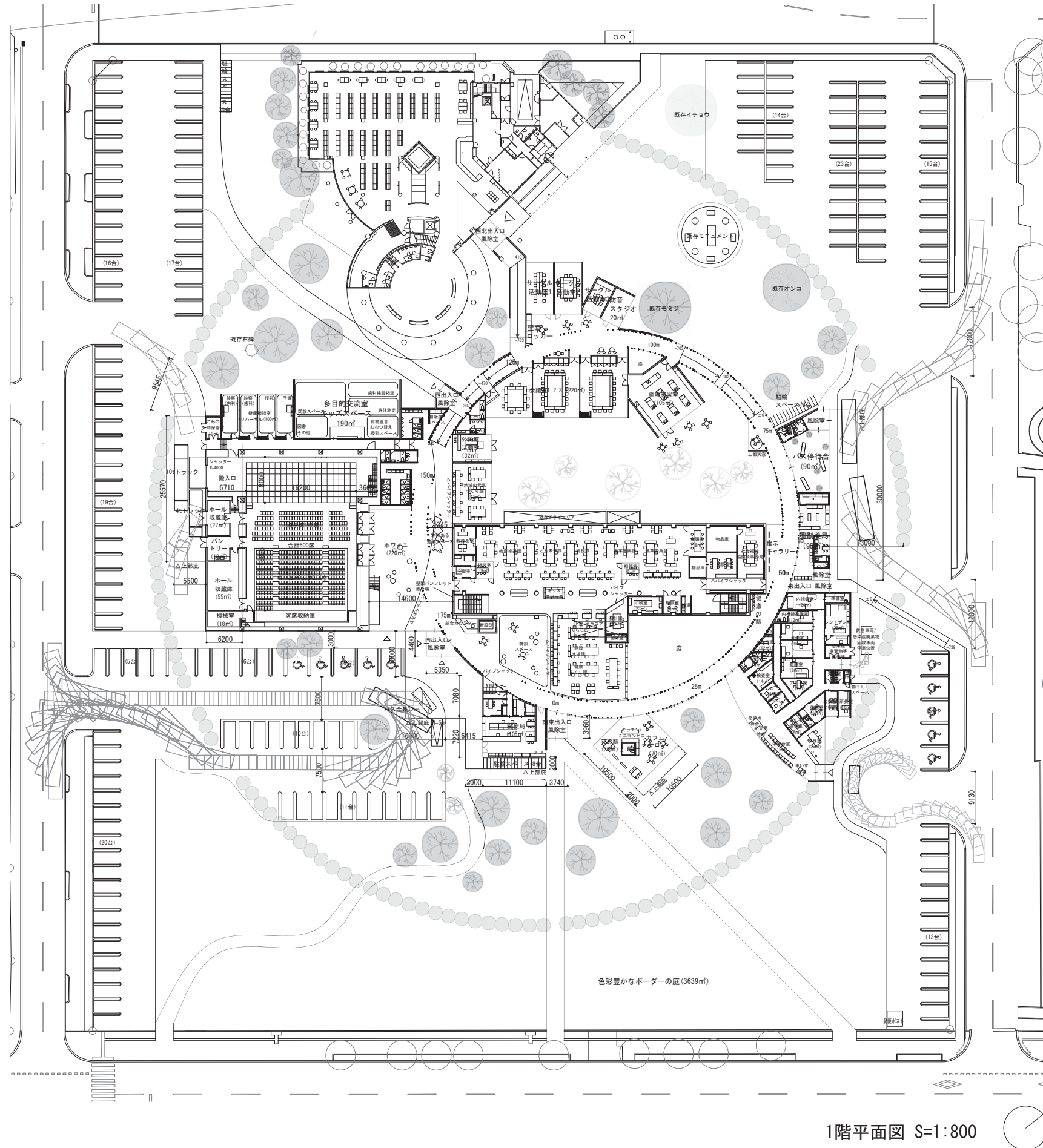
1 配置図



S=1:1000

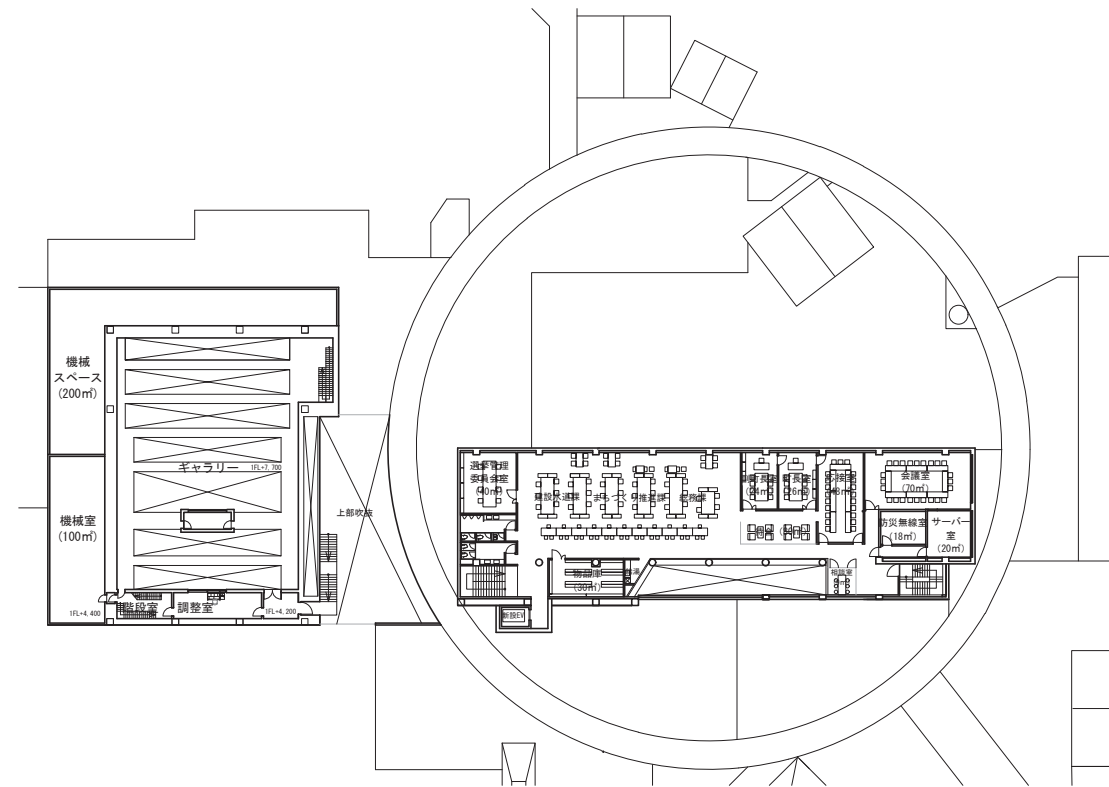


2 北エリア 1階平面図

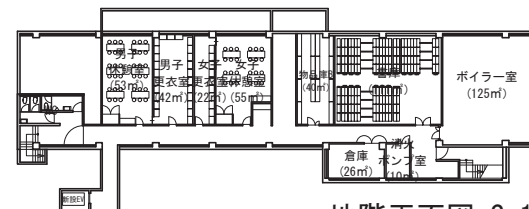


1階平面図 S=1:800


3 北エリア 2階 / 地階平面図



2階平面図 S=1:800



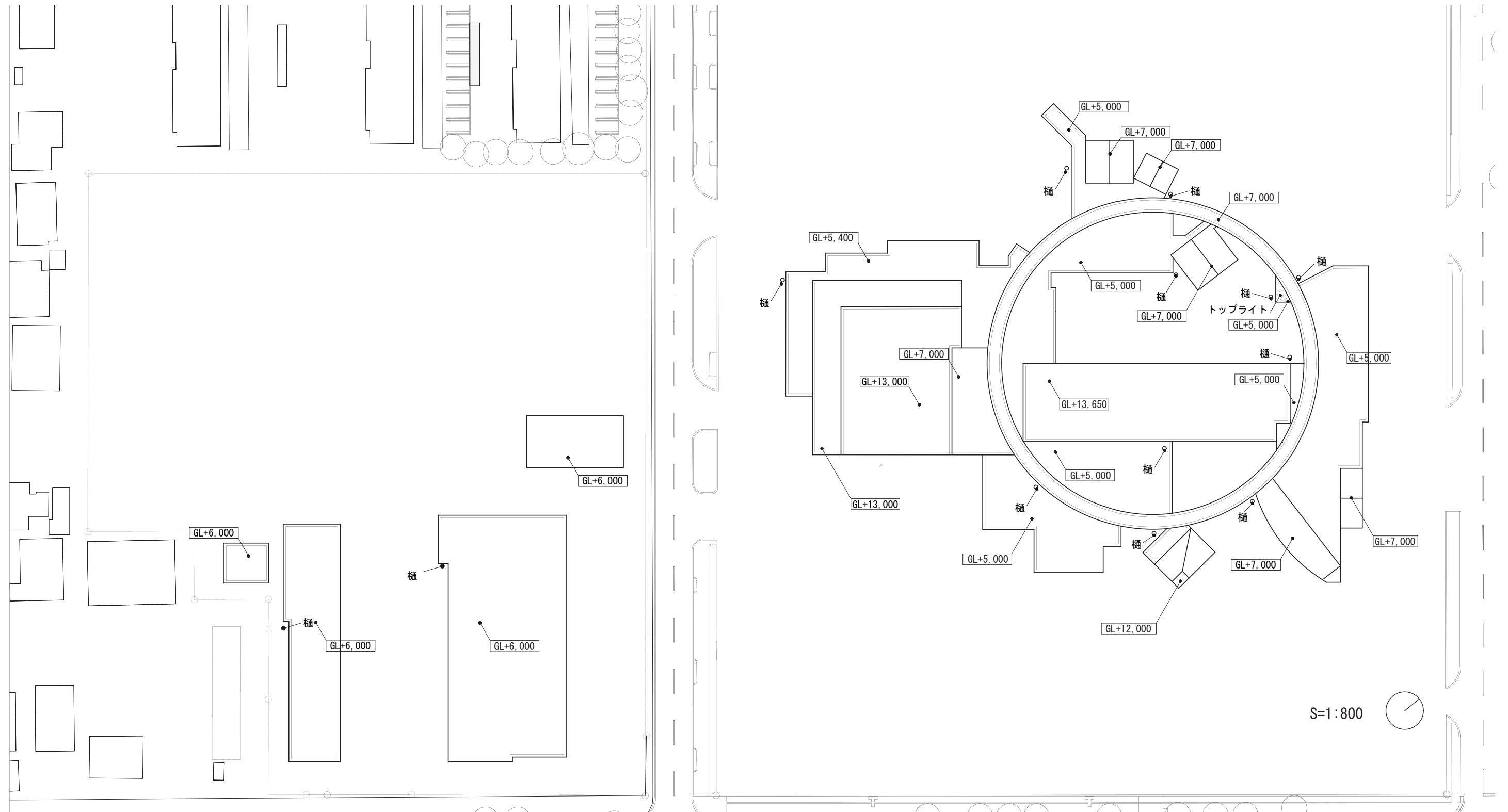
地階平面図 S=1:800

S=1:800 

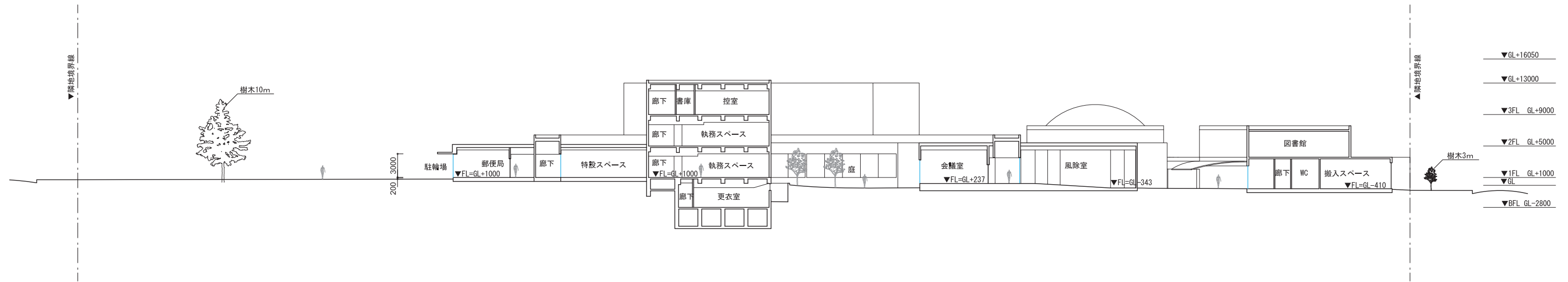




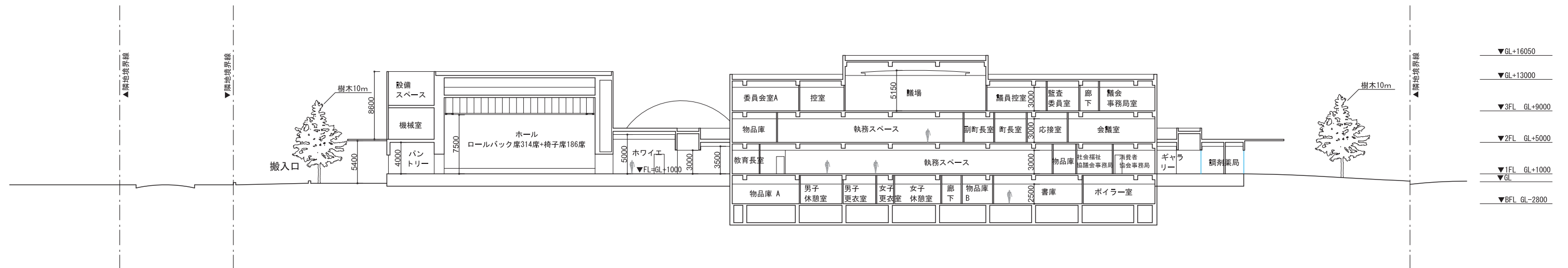
5 屋根伏図



6 断面図

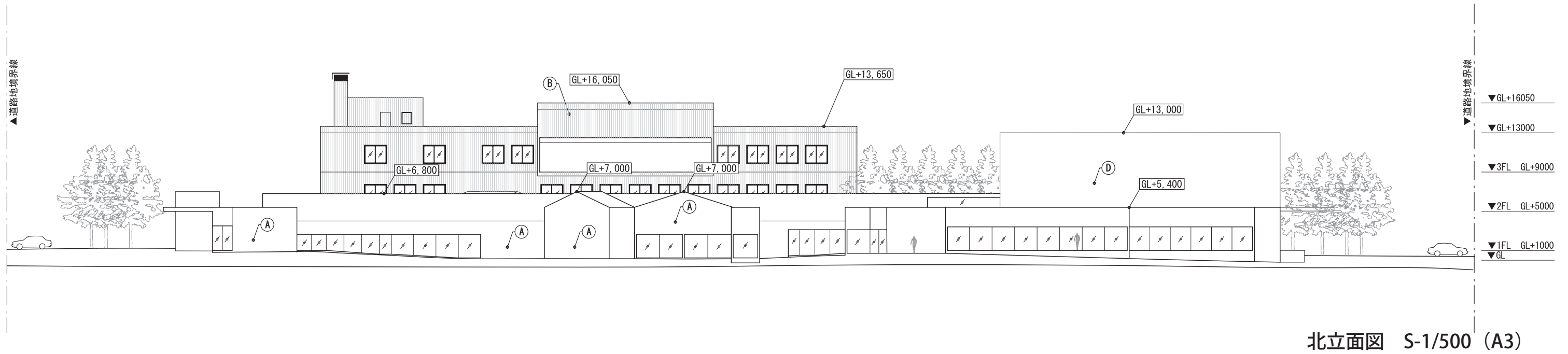
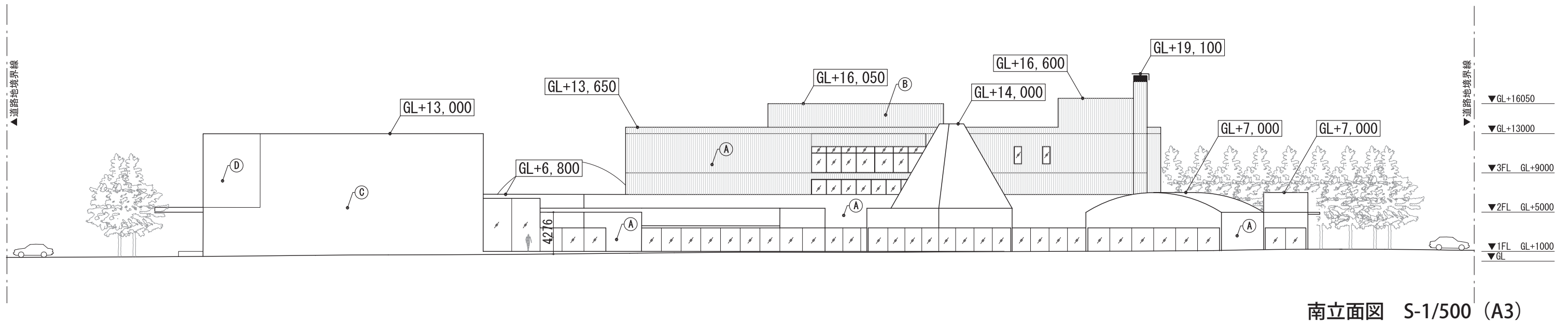


A-A' 断面図 S-1/500 (A3)



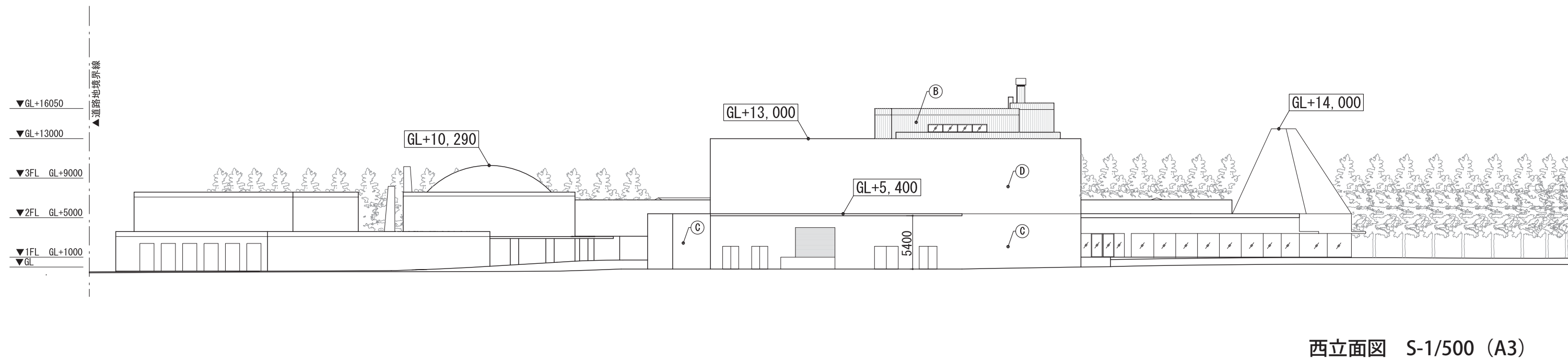
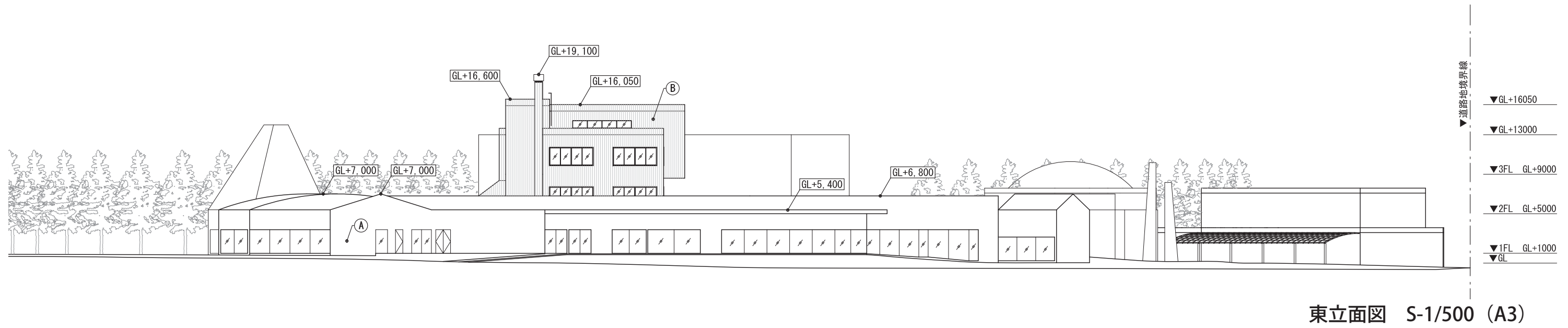
B-B' 断面図 S-1/500 (A3)

7 立面図



凡例：A アルミスパンドレル B 既存外壁

7 立面図

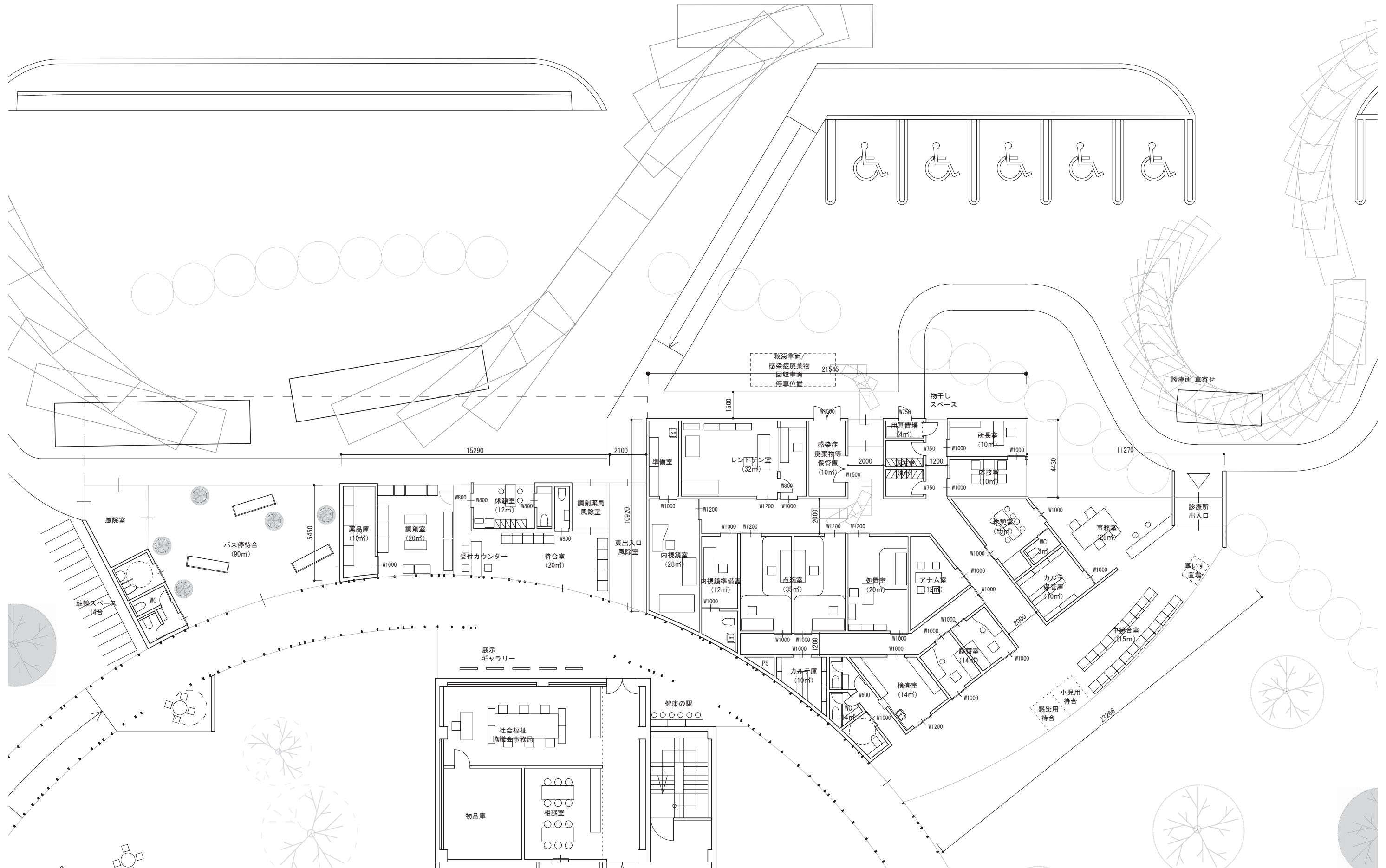


凡例：A アルミスパンドレル B 既存外壁



7 拡大平面図

診療所 A3 S-1/400



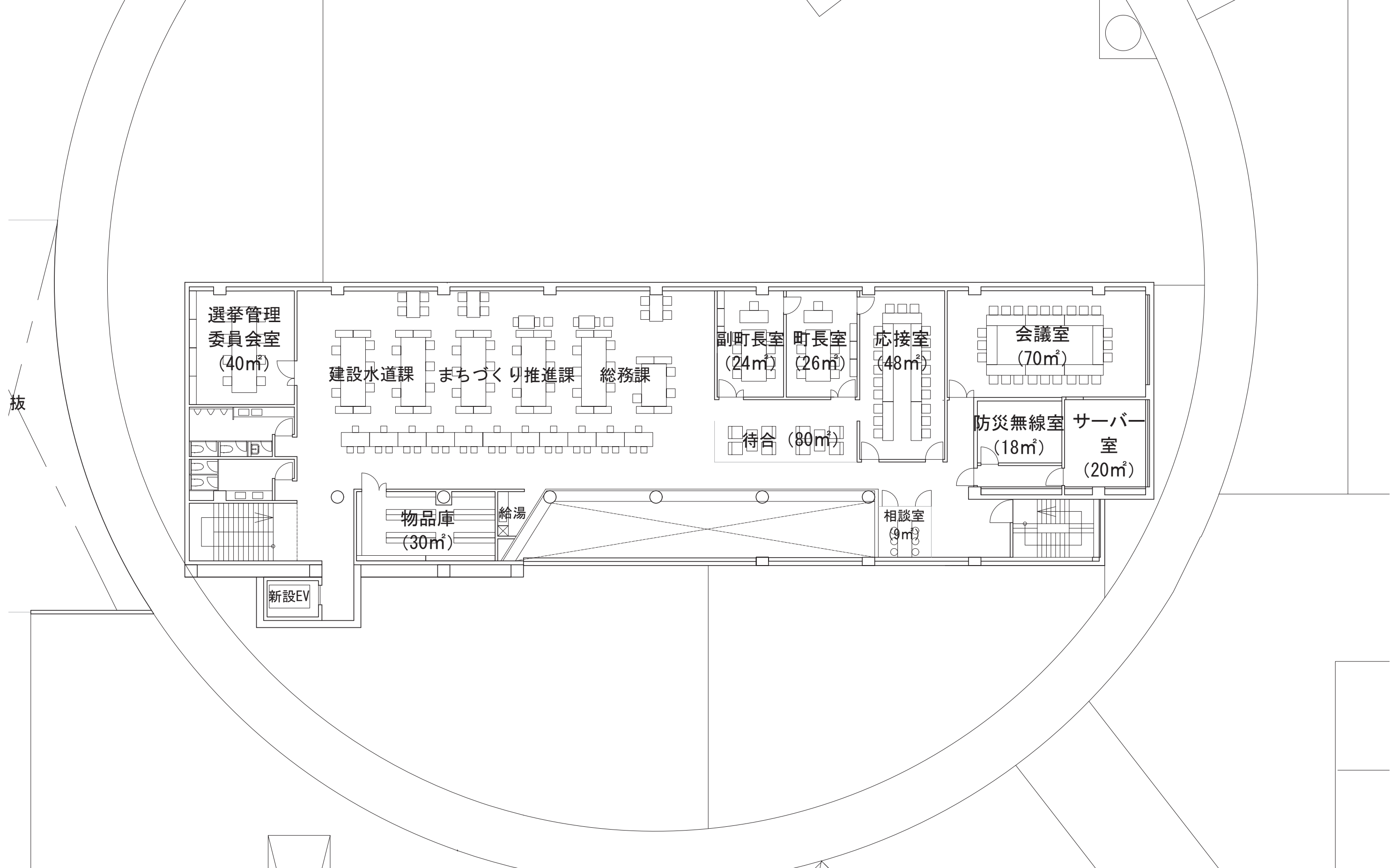
7 拡大平面図

執務スペース 1F A3 S-1/400



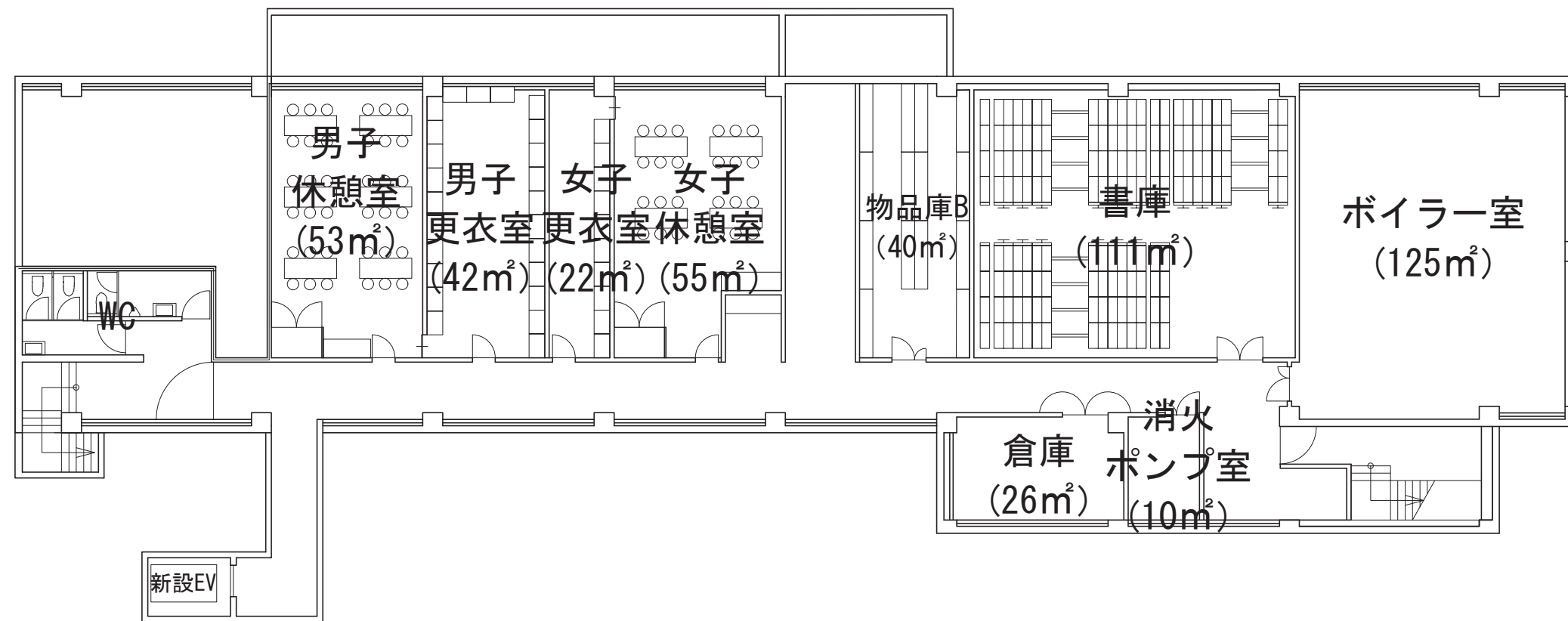
7 拡大平面図

執務スペース 2F A3 S-1/400



7 拡大平面図

執務スペース B1F A3 S-1/400

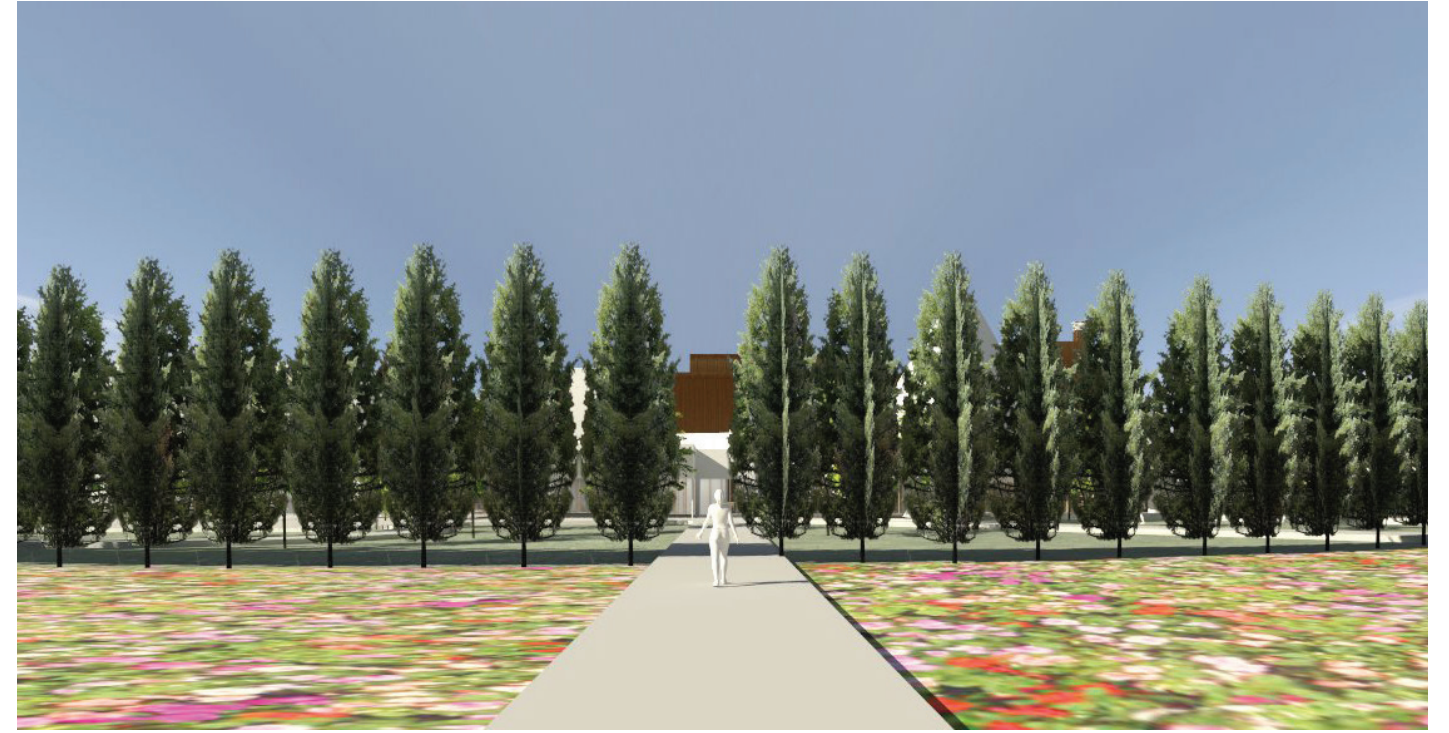




1 内観 / 外観イメージパース



施設全体鳥瞰



正面外観



会議室内観



回廊、カフェ・執務内観



1 内観 / 外観イメージパース



ホワイエ内観



ホール内観



執務スペース内観



回廊内観



第9章 概算工事費

【 東神楽町複合施設 】		工事費(税込)当り (坪単価1,434千円)		
I. 直接工事費		2,735,930,000	333,854/㎡	工事費割合 建築割合
A. 建築工事		2,144,735,000	261,713/㎡	66.3%
1. 直接仮設工事		78,294,000	9,554/㎡	3.7%
2. 土工事	一般土工	54,500,000	6,650/㎡	2.5%
	山留め他	0	/㎡	0.0% オープンカット工法想定
3. 地業工事	地業	14,765,000	1,802/㎡	0.7%
	既製コンクリート杭	0	/㎡	0.0%
	現場打ちコンクリート杭	0	/㎡	0.0%
	地盤改良	0	/㎡	0.0%
3. 躯体工事	鉄筋	24,442,000	2,983/㎡	1.1%
	コンクリート	99,480,000	12,139/㎡	4.6%
	型枠	61,945,000	7,559/㎡	2.9%
	鉄骨	360,294,000	43,965/㎡	16.8%
4. 外部仕上工事	屋根・外部床等	45,404,000	5,540/㎡	2.1%
	外壁	54,413,000	6,640/㎡	2.5%
	外部建具・開口部	196,717,000	24,005/㎡	9.2%
	外部雑	67,535,000	8,241/㎡	3.1%
5. 内部仕上工事	内部床・壁・天井	325,853,000	39,762/㎡	15.2%
	内部建具・開口部	129,571,000	15,811/㎡	6.0%
6. 舞台設備工事	機構・照明・音響・客席	227,827,000	27,801/㎡	10.6%
7. 昇降機設備工事	新設	45,046,000	5,497/㎡	2.1%
8. 屋外工事	工作物	39,091,000	4,770/㎡	1.8%
	構内舗装	74,098,000	9,042/㎡	3.5%
	屋外排水	27,400,000	3,344/㎡	1.3%
	植栽	50,354,000	6,144/㎡	2.3%
9. その他工事	附帯改修	152,740,000	18,638/㎡	7.1%
	解体・その他	14,966,000	1,826/㎡	0.7%
B. 電気設備工事		165,284,000	20,169/㎡	5.1%
C. 空調設備工事		297,930,000	36,355/㎡	9.2%
D. 給排水衛生設備工事		127,981,000	15,617/㎡	4.0%
II. 共通費		496,844,000	60,628/㎡	
(1) 共通仮設費	5.5%	150,476,150		4.7% 積上げ分を含む
(2) 諸経費	12.0%	346,367,850		10.7% 現場管理費+一般管理費等
III. 合計 (工事価格)		3,232,774,000	394,481/㎡	100.0%
IV. 消費税等相当額	10.0%	323,277,400	39,448/㎡	
V. 税込み総合計 (工事費)		3,556,051,400	433,929/㎡	

■工事費概算算出方法について

- ・ 建築工事費については、基本設計の構造・用途・規模・地域性が類似している実績案件に基づき、新築・改修それぞれの㎡単価をエリアごとに乗じて算出し、かつ、各仕上・仕様の補正を行い設定した。また、大項目についてはメーカー見積りによる単価を採用した。
- ・ 電気設備工事・空調設備工事・給排水衛生設備工事については、諸室の構成や機能が類似している実績物件に基づき、今回面積に㎡単価を乗じて算出し、補正を加え設定した。
- ・ 舞台設備工事については、基本設計に基づいた数量を算出し、メーカー見積りによる単価を採用とした。
- ・ 経費率については、各工事それぞれに実績物件による経費率、またはメーカーヒアリングによる経費率を参考とし算定したものである。